三菱電機シーケンサ

MELSEC iQ-R/MELSEC iQ-F Webサーバ機能 ガイドブック

安全上のご注意

(ご使用前に必ずお読みください)
三菱電機シーケンサのご使用に際しては，各製品のマニュアルおよび各製品のマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。
この「安全上のご注意」では，安全注意事項のランクを「⚠警告」，「⚠注意」として区分してあります。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

⚠ 注意	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

[設計上の注意事項]

⚠警告

- CPUユニットまたはインテリジェント機能ユニットに外部機器を接続して，運転中のシーケンサに対する制御(データ変更)を行うときは，常にシステム全体が安全側に働くように，プログラム上でインタロック回路を構成してください。また，運転中のシーケンサに対するその他の制御(プログラム変更，パラメータ変更，強制出力，運転状態変更(状態制御))を行うときは，マニュアルを熟読し，十分に安全を確認してから行ってください。確認を怠ると，操作ミスにより機械の破損や事故の原因になります。
- 外部機器から遠隔地のシーケンサに対する制御では，データ交信異常によりシーケンサ側のトラブルにすぐに対応できない場合があります。プログラム上でインタロック回路を構成すると共に，データ交信異常が発生したときのシステムとしての処置方法を外部機器とCPUユニット間で取り決めてください。
- ユニットのバッファメモリの中で，システムエリアまたは書込み不可のエリアにはデータを書き込まないでください。また，CPUユニットから各ユニットに対する出力信号の中で，使用禁止の信号を出力(ON)しないでください。システムエリアまたは書込み不可のエリアに対するデータの書込み，使用禁止の信号に対する出力を行うと，シーケンサシステムが誤動作する危険性があります。システムエリアまたは書込み不可のエリア，使用禁止の信号については，各ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
- ネットワーク経由の外部機器からの不正アクセスに対して，シーケンサシステムの安全を保つ必要があるときは，お客様による対策を盛り込んでください。また，インターネット経由の外部機器からの不正アクセスに対して，シーケンサシステムの安全を保つ必要があるときは，ファイアウォールなどの対策を盛り込んでください。

[配線上の注意事項]

⚠注意

- コネクタは，確実にユニットに取り付けてください。接触不良により，誤動作の原因になります。
- 制御線や通信ケーブルは，主回路や動力線と束線したり，近接させたりしないでください。100mm以上を目安として離してください。ノイズにより，誤動作の原因になります。
- ユニットに接続する電線やケーブルは，必ずダクトに納めるか，またはクランプによる固定処理を行ってください。電線やケーブルをダクトに納めなかったり，クランプによる固定処理をしていないと，ケーブルのふらつきや移動，不注意の引っ張りなどによる誤動作またはユニットやケーブルの破損の原因になります。
  特に振動，衝撃の大きい場所で使用する場合は，電線やケーブルの重量がユニットへの負荷となる場合があります。
- ユニットに接続された通信ケーブルや電源ケーブルを取りはずすときは，ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると，誤動作またはユニットやケーブルの破損の原因になります。
- ケーブル接続は，接続するインタフェースの種類を確認の上，正しく行ってください。異なったインタフェースに接続または誤配線すると，ユニットまたは外部機器の故障の原因になります。
- システムで使用するEthernetケーブルは，各ユニットのユーザーズマニュアル記載の仕様に従ってください。仕様外の配線では，正常なデータ伝送を保証できません。

[立上げ・保守時の注意事項]

⚠注意

- CPUユニットまたはインテリジェント機能ユニットに外部機器を接続して，運転中のシーケンサに対する制御(データ変更)を行うときは，常にシステム全体が安全側に働くように，プログラム上でインタロック回路を構成してください。また，運転中のシーケンサに対するその他の制御(プログラム変更，パラメータ変更，強制出力，運転状態変更(状態制御))を行うときは，マニュアルを熟読し，十分に安全を確認してから行ってください。確認を怠ると，操作ミスにより機械の破損や事故の原因になります。
- 外部機器から遠隔地のシーケンサに対する制御では，データ交信異常により，シーケンサ側のトラブルにすぐに対応できない場合があります。プログラム上でインタロック回路を構成すると共に，データ交信異常が発生したときのシステムとしての処置方法を外部機器とCPUユニット間で取り決めてください。
- SDメモリカードの取付け・取りはずしは，製品使用後，500回以内としてください。500回を超えた場合は，誤動作の原因となる恐れがあります。
- SDメモリカード取扱い時は，剥き出しになっているカード端子に触れないでください。故障や誤動作の原因になります。

[運転時の注意事項]

⚠注意

- インテリジェント機能ユニットにパソコンなどの外部機器を接続して運転中のシーケンサに対する制御(特にデータ変更，プログラム変更，運転状態変更(状態制御))を行うときはユーザーズマニュアルを熟読し，十分に安全を確認してから行ってください。データ変更，プログラム変更，状態制御を誤ると，システムの誤動作，機械の破損や事故の原因になります。

製品の適用について

（1）当社シーケンサをご使用いただくにあたりましては，万一シーケンサに故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること，および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることをご使用の条件とさせていただきます。

（2）当社シーケンサは，一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。
したがいまして，以下のような機器・システムなどの特殊用途へのご使用については，当社シーケンサの適用を除外させていただきます。万一使用された場合は当社として当社シーケンサの品質，性能，安全に関る一切の責任（債務不履行責任，瑕疵担保責任，品質保証責任，不法行為責任，製造物責任を含むがそれらに限定されない）を負わないものとさせていただきます。

・各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途
・鉄道各社殿および官公庁殿など，特別な品質保証体制の構築を当社にご要求になる用途
・航空宇宙，医療，鉄道，燃焼・燃料装置，乗用移動体，有人搬送装置，娯楽機械，安全機械など
生命，身体，財産に大きな影響が予測される用途

ただし，上記の用途であっても，具体的に使途を限定すること，特別な品質（一般仕様を超えた品質等）をご要求されないこと等を条件に，当社の判断にて当社シーケンサの適用可とする場合もございますので，詳細につきましては当社窓口へご相談ください。

はじめに

このたびは三菱電機シーケンサをお買い上げいただき，まことにありがとうございました。
本マニュアルは，Webサーバ機能をご使用いただくときに必要な仕様，パラメータ設定，使用までの手順，システム構成，機能，トラブルシューティングなどについてご理解いただくためのマニュアルです。
ご使用前に本マニュアルや関連マニュアルをよくお読みいただき，製品を十分ご理解の上，正しくご使用くださるようお願いいたします。
また，本マニュアルで紹介するプログラム例を実際のシステムへ流用する場合は，対象システムにおける制御に問題がないことを十分検証ください。
本マニュアルにつきましては最終ユーザまでお届けいただきますよう，宜しくお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意 1
製品の適用について 3
はじめに 4
関連マニュアル 7
用語 8

第1章　Webサーバ機能とは　9

1.1　Webサーバ機能仕様 11
1.2　システム構成 12
1.3　Webサーバ機能を使用できるCPUユニット 12

第2章　Webサーバ機能を使う準備をしよう　13

2.1　CPUユニットのパラメータ設定 14
2.2　Webサーバへのアクセス方法 18
　システムWebページの書込み手順 19
2.3　ログオン/ログオフ 20

第3章　Webサーバ機能を使ってみよう　21

3.1　ユニット詳細情報(ユニット情報) 23
3.2　デバイスモニタ 24
　デバイス一括モニタ 24
　デバイステスト 27
　ウォッチ 28
3.3　CPU診断 30
3.4　イベント履歴 32
3.5　アクセスログ 34
3.6　ユーザWebページ 37
3.7　システムWebページ更新 37
3.8　表示更新周期 38
3.9　言語切替え 39

第4章　ユーザWebページを使ってみよう　41

4.1　ユーザWebページのライブラリをダウンロード 43
4.2　CPUユニットのパラメータ設定 43
4.3　ユーザWebページの編集 44
4.4　SDメモリカードへの格納 47
4.5　ユーザWebページへのアクセス 49

第5章　トラブルシューティング　51

第6章　注意事項　53

付録　55

付1　システムWebページバージョン 55
付2　ユーザWebページバージョン 56

索引 57

改訂履歴 58
保証について 59
購入に関するお問い合わせ 60
サービスのお問い合わせ 60
商標 60

関連マニュアル

最新のe-ManualおよびマニュアルPDFは，三菱電機FAサイトからダウンロードできます。
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

マニュアル名称[マニュアル番号]	説明	提供形態	価格
MELSEC iQ-R/MELSEC iQ-F Webサーバ機能ガイドブック [SH-081981](本マニュアル)	Webサーバ機能の仕様，運転までの手順，トラブルシューティングについて記載しています。	e-Manual PDF	—
MELSEC iQ-R Ethernetユーザーズマニュアル(応用編) [SH-081253]	Ethernetの機能，パラメータ設定，プログラミング，トラブルシューティング，入出力信号，バッファメモリについて記載しています。 Webサーバ機能については，ユーザWebページで使用できるJavaScript部品の詳細について記載しています。	製本物	3,000円
		e-Manual PDF	—
MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編) [JY997D55101]	内蔵Ethernetポート通信の機能に関する内容を記載しています。 Webサーバ機能については，ユーザWebページで使用できるJavaScript部品の詳細について記載しています。	e-Manual PDF	—
MELSEC iQ-R CPUユニットユーザーズマニュアル(応用編) [SH-081224]	CPUユニットのメモリ，機能，デバイス，パラメータなどについて記載しています。	製本物	4,000円
		e-Manual PDF	—
GX Works3 オペレーティングマニュアル [SH-081214]	GX Works3のシステム構成や，パラメータ設定，オンライン機能の操作方法などについて記載しています。	e-Manual PDF	—

Point

e-Manualとは，専用のツールを使用して閲覧できる三菱電機FA電子書籍マニュアルです。e-Manualには下記のような特長があります。

- 探したい情報を複数のマニュアルから一度に検索可能(マニュアル横断検索)
- マニュアル内のリンクから他マニュアルを参照可能
- 製品のイラストの各パーツから知りたいハードウェア仕様を閲覧可能
- 頻繁に参照する情報をお気に入り登録可能
- サンプルプログラムをエンジニアリングツールにコピー可能

用語

本マニュアルでは，特に明記する場合を除き，下記の用語を使用して説明します。

用語	説明
エンジニアリングツール	シーケンサの設定，プログラミング，デバッグ，保守までを行うためのツールです。
デバイス	CPUユニットが内部に持っているデバイス(X，Y，M，Dなど)です。
バッファメモリ	設定値，モニタ値などのデータを格納するための，インテリジェント機能ユニットのメモリです。CPUユニットの場合は，Ethernet機能の設定値，モニタ値などのデータやマルチCPUシステム機能のデータ交信に使用するデータなどを格納するためのメモリを指します。

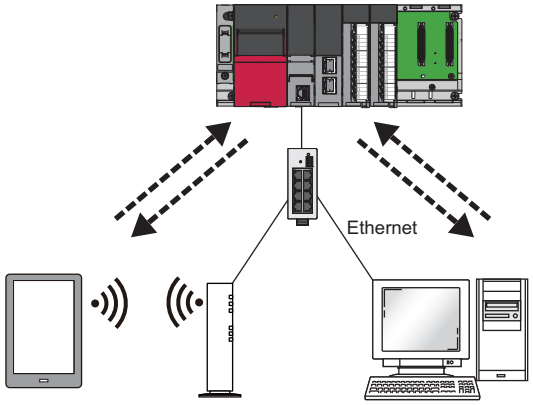
1 Webサーバ機能とは

Webブラウザを使用して，CPUユニットへのデバイスデータ書込み/読出しを行える機能です。Ethernet接続されているパソコンの汎用のWebブラウザだけでなく，タブレットやスマートフォンの汎用のWebブラウザからもEthernet経由で，CPUユニットへのデバイスデータ書込み/読出しを行えます。また，お客様独自のWebページを作成したり，表示させたりできます。

Webサーバ機能でできること

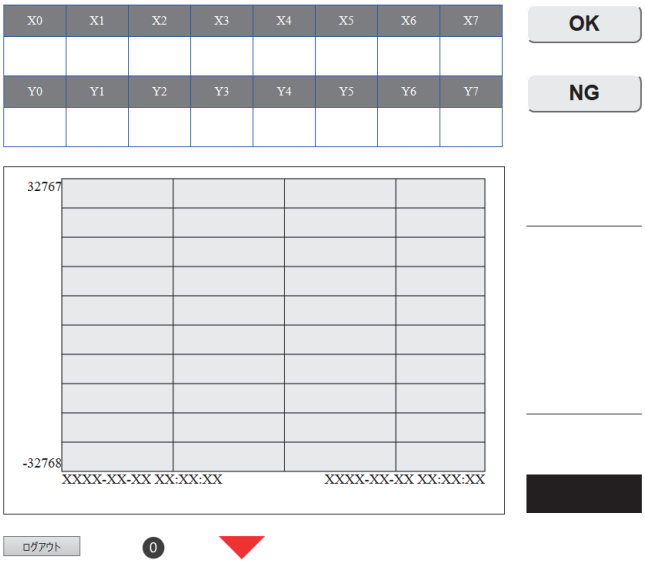
■WebブラウザからCPUユニットへのデバイスデータ書込み/読出し

Webブラウザを使用して，Ethernet経由でCPUユニットを操作/表示できます。タブレットやスマートフォンのWebブラウザからも使用できるため，簡単にCPUユニットの操作/表示ができます。



■独自のWebページ(ユーザWebページ)を作成

お客様独自のWebページ画面を作成できます。作成したWebページは，ユーザWebページとして，Webブラウザ上に表示できます。Webページのレイアウト，表示させる機能は自由に設定できます。



制約事項

MELSEC iQ-Rシリーズの場合

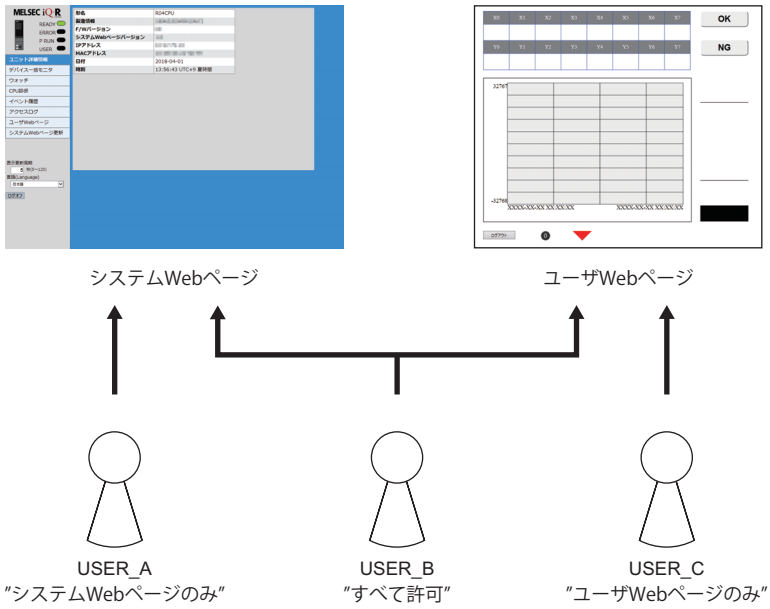
- ユーザWebページを表示するには，SDメモリカードが必要です。そのため，R00CPUでは使用できません。

MELSEC iQ-Fシリーズの場合

- MELSEC iQ-FのCPUユニットでは，FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでユーザWebページを使用できます。

■アカウントに応じたWebサーバの操作/表示の制限

ユーザ名，パスワードによるユーザ認証によって，外部からの不正なアクセスを防ぎます。また，アカウントごとにシステムWebページおよびユーザWebページの表示や，デバイスへの書込みを制限することもできます。



Webサーバ機能一覧

Webサーバ機能では，下記の操作/表示ができます。

項目	内容	使用可否		参照
		MELSEC iQ-R	MELSEC iQ-F	
ユーザ認証	ログオン/ログオフの状態を制御できます。	○	○	20ページ Webサーバへのログオン
ユニット詳細情報	CPUユニットの形名，製造情報(製造番号)，F/Wバージョンなど，CPUユニットの詳細情報が表示されます。	○	○	23ページ ユニット詳細情報(ユニット情報)
デバイス一括モニタ	デバイスおよびバッファメモリを一括でモニタできます。	○	○	24ページ デバイス一括モニタ
ウォッチ	デバイスおよびバッファメモリを1点単位でモニタできます。	○	○	28ページ ウォッチ
デバイステスト	デバイスに任意の値を書き込めます。	○	○	27ページ デバイステスト
CPU診断	現在発生しているエラーを確認できます。	○	○	30ページ CPU診断
イベント履歴	イベント履歴(発生日時，イベントコード，詳細情報など)が表示されます。	○	○	32ページ イベント履歴
アクセスログ	Webサーバへのアクセス履歴や操作内容，アクセス元IPアドレスを表示できます。	○	○	34ページ アクセスログ
ユーザWebページ	お客様独自のWebページを表示できます。	○	○	41ページ ユーザWebページを使ってみよう
システムWebページ更新	システムWebページファイルを用いて，システムWebページの更新ができます。	○	×	37ページ システムWebページ更新
表示更新周期	システムWebページの更新周期を変更できます。	○	○	38ページ 表示更新周期
言語切替え	システムWebページの表示を選択した言語に切り替えます。	○	○	39ページ 言語切替え

Point

- システムWebページは，Webサーバ機能のデフォルトのWebページです。WebブラウザからWebサーバ機能でCPUユニットにアクセスすると表示されます。システムWebページでは，Webサーバ機能の各機能が使用できます。
- ユーザWebページとは，Webサーバ機能で表示できる，お客様独自のWebページです。作成したWebページをSDメモリカードに格納すると，ユーザWebページとして表示されます。

1.1 Webサーバ機能仕様

Webサーバ機能仕様

Webサーバ機能仕様は，下記のとおりです。

項目	内容
同時にログオンできるユーザ数	4
自局ポート番号	デフォルト: 80(変更可能)
対応言語	・日本語 ・英語 ・中国語(簡体字)*1 ユーザWebページは，多言語対応*1
対応文字コード	UTF-8
アカウント数	4
更新周期	5~120秒(デフォルト: 5秒)

*1 FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでは，ファームウェアバージョンが"1.100"以降で使用できます。

クライアントの動作環境

Webサーバ機能において，弊社で動作確認済みのクライアントは，下記のとおりです。

端末	OS	ブラウザ	ブラウザバージョン		
			MELSEC iQ-R	MELSEC iQ-F	
				FX5UJ	FX5U，FX5UC
パソコン	Microsoft® Windows®	Internet Explorer®	11	11	11
		Microsoft® Edge	41	44	41
		Google Chrome	62.0	72	55
タブレット スマートフォン	Android®	Mobile Google Chrome	61	55	55
	iOS®	Mobile Safari	11	11	9

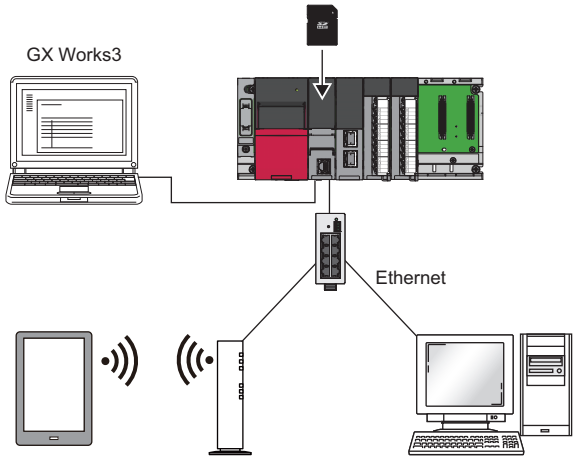
Point

Webサーバ機能では，HTML5，CSS3，JavaScriptに対応したWebブラウザを使用してください。

1.2 システム構成

Webサーバ機能を実現するためのシステム構成は，下記のとおりです。

システム構成図



機器名	内容
CPUユニット	Webサーバ機能を搭載したCPUユニットです。(☞ 12ページ Webサーバ機能を使用できるCPUユニット)
エンジニアリングツール(GX Works3)	Webサーバ機能の有効/無効やユーザ認証の設定に使用します。
Webブラウザ	パソコンやタブレット，またはスマートフォンなどのHTTPクライアントです。
ルータ/ハブ/無線LAN	Webサーバ機能で使用するには，Ethernet接続可能なネットワーク構成が必要です。
SDメモリカード	ユーザWebページを格納したSDメモリカードです。ユーザWebページを使用する場合に使用します。

1.3 Webサーバ機能を使用できるCPUユニット

Webサーバ機能を使用できるCPUユニットと，ファームウェアバージョンは下記のとおりです。

CPUユニット	ファームウェアバージョン	エンジニアリングツールバージョン
R00CPU，R01CPU，R02CPU	"05"以降	"1.045X"以降
R04CPU，R04ENCPU，R08CPU，R08ENCPU，R16CPU，R16ENCPU，R32CPU，R32ENCPU，R120CPU，R120ENCPU	"35"以降	"1.045X"以降
FX5U-32MR/ES，FX5U-32MT/ES，FX5U-32MT/ESS，FX5U-64MR/ES，FX5U-64MT/ES，FX5U-64MT/ESS，FX5U-80MR/ES，FX5U-80MT/ES，FX5U-80MT/ESS，FX5U-32MR/DS，FX5U-32MT/DS，FX5U-32MT/DSS，FX5U-64MR/DS，FX5U-64MT/DS，FX5U-64MT/DSS，FX5U-80MR/DS，FX5U-80MT/DS，FX5U-80MT/DSS，FX5UC-32MT/D，FX5UC-32MT/DSS，FX5UC-64MT/D，FX5UC-64MT/DSS，FX5UC-96MT/D，FX5UC-96MT/DSS，FX5UC-32MT/DS-TS，FX5UC-32MT/DSS-TS，FX5UC-32MR/DS-TS	"1.060"以降	"1.040S"以降
FX5UJ-24MR/ES，FX5UJ-24MT/ES，FX5UJ-24MT/ESS，FX5UJ-40MR/ES，FX5UJ-40MT/ES，FX5UJ-40MT/ESS，FX5UJ-60MR/ES，FX5UJ-60MT/ES，FX5UJ-60MT/ESS	"1.000"以降	"1.060N"以降

2 Webサーバ機能を使う準備をしよう

Webサーバ機能を使用するまでの手順を示します。使用するCPUユニットのシリーズによって，手順が異なります。

MELSEC iQ-Rの場合

MELSEC iQ-RのCPUユニットでWebサーバ機能を使用するには，システムWebページファイルが必要です。システムWebページファイルは三菱電機FAサイトよりダウンロードできます。三菱電機FAサイトにアクセスできない場合は，最寄りの当社の支社，代理店にご相談ください。

1. Webブラウザを使用できる機器およびエンジニアリングツールを準備します。
2. エンジニアリングツールでCPUユニットのパラメータを設定します。(☞ 14ページ CPUユニットのパラメータ設定)
3. CPUユニットの電源OFF→ON，またはリセットでパラメータ設定を反映します。(☞ 17ページ パラメータの反映)
4. WebブラウザからCPUユニットへアクセスし，システムWebページを書き込みます。(☞ 18ページ Webサーバへのアクセス方法)
5. Webサーバへログオンします。(☞ 20ページ Webサーバへのログオン)
6. Webサーバからログオフします。(☞ 20ページ Webサーバからのログオフ)

Point

Webサーバ機能を使用するときは，WebブラウザのJavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

MELSEC iQ-Fの場合

1. Webブラウザを使用できる機器およびエンジニアリングツールを準備します。
2. エンジニアリングツールでCPUユニットのパラメータを設定します。(☞ 14ページ CPUユニットのパラメータ設定)
3. CPUユニットの電源OFF→ON，またはリセットでパラメータ設定を反映します。(☞ 17ページ パラメータの反映)
4. WebブラウザからCPUユニットへアクセスします。(☞ 18ページ Webサーバへのアクセス方法)
5. Webサーバへログオンします。(☞ 20ページ Webサーバへのログオン)
6. Webサーバからログオフします。(☞ 20ページ Webサーバからのログオフ)

Point

Webサーバ機能を使用するときは，WebブラウザのJavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

2.1 CPUユニットのパラメータ設定

Webサーバ機能を使用する前に，エンジニアリングツールで各設定をします。

IPアドレス設定

CPUユニットのIPアドレスを設定します。CPUユニットのIPアドレスは，下記から設定できます。使用するCPUユニットのシリーズによって，設定場所が異なります。

- MELSEC iQ-R

[ナビゲーションウィンドウ]⇨[パラメータ]⇨[CPUユニット]⇨[ユニットパラメータ]⇨[基本設定]⇨[自ノード設定]

- MELSEC iQ-F

[ナビゲーションウィンドウ]⇨[パラメータ]⇨[CPUユニット]⇨[ユニットパラメータ]⇨[Ethernetポート]⇨[基本設定]⇨[自ノード設定]

Webサーバ設定

Webサーバ設定は，下記から設定できます。使用するCPUユニットのシリーズによって，設定場所が異なります。

• MELSEC iQ-R

[ナビゲーションウィンドウ]⇨[パラメータ]⇨[CPUユニット]⇨[ユニットパラメータ]⇨[応用設定]⇨[Webサーバ設定]

• MELSEC iQ-F

[ナビゲーションウィンドウ]⇨[パラメータ]⇨[CPUユニット]⇨[ユニットパラメータ]⇨[Ethernetポート]⇨[応用設定]⇨[Webサーバ設定]

下記の手順で設定してください。

1. "Webサーバ使用有無"を"使用する"に設定します。
2. "自局ポート番号"を設定します。("自局ポート番号"には設定範囲があります。設定範囲の詳細は，下記を参照してください。)

項目	内容	設定範囲	
		MELSEC iQ-R	MELSEC iQ-F
Webサーバ使用有無	Webサーバ機能を使用する/使用しないを設定します。	• 使用しない • 使用する (デフォルト: 使用しない)	
自局ポート番号	Webサーバ機能で使用するポート番号を設定します。*1	80，1024~4999，5010~61439(45237は使用不可) (デフォルト: 80)	80，1024~5548，5570~65534 (デフォルト: 80)
アカウント設定	Webサーバ機能のアカウント，パスワードを設定します。	☞ 16ページ アカウント設定	

*1　ポート番号は，他のEthernet機能と重複して使用できません。

アカウント設定

アカウントの登録や削除ができます。また，MELSEC iQ-RのCPUユニットでは，登録したアカウントごとに権限を設定できます。

■Webサーバアカウント設定

Webサーバアカウント設定は，下記から設定できます。使用するCPUユニットのシリーズによって，設定場所が異なります。

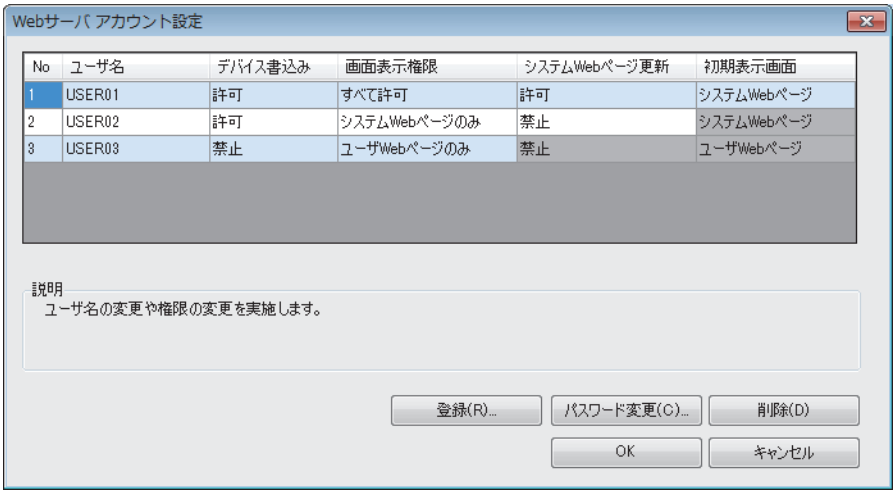
- MELSEC iQ-R

[ナビゲーションウィンドウ]⇨[パラメータ]⇨[CPUユニット]⇨[ユニットパラメータ]⇨[応用設定]⇨[Webサーバ設定]⇨[アカウント設定]

- MELSEC iQ-F

[ナビゲーションウィンドウ]⇨[パラメータ]⇨[CPUユニット]⇨[ユニットパラメータ]⇨[Ethernetポート]⇨[応用設定]⇨[Webサーバ設定]⇨[アカウント設定]

[登録]ボタンをクリックすると，新しいユーザを登録できます。(☞ 17ページ 新しいユーザの追加)

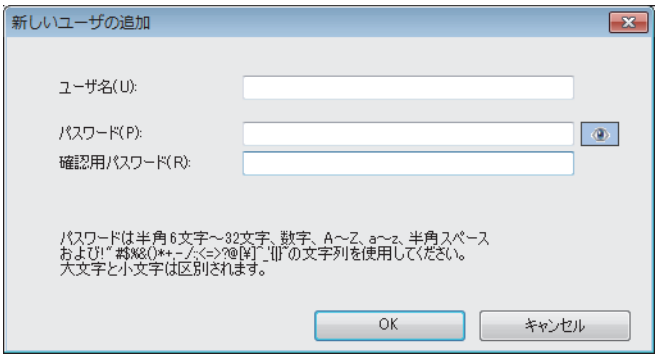


項目	内容	設定範囲
No	Webサーバを利用するアカウントNo.が表示されます。	1~4
ユーザ名	Webサーバアクセス時の認証で使用するユーザ名が表示されます。 ユーザ名をクリックすると，ユーザ名を変更できます。	半角1~20文字(英数記号)
デバイス書込み	デバイステストで値を更新することを許可/禁止するか設定できます。(☞ 27ページ デバイステスト)	・禁止 ・許可 (デフォルト: 禁止)
画面表示権限*2*3	システムWebページおよびユーザWebページのアクセス許可/禁止を設定できます。	・すべて許可 ・システムWebページのみ ・ユーザWebページのみ (デフォルト: システムWebページのみ)
システムWebページ更新*1	システムWebページの更新の許可/禁止を設定できます。 画面表示権限が"すべて許可"または"システムWebページのみ"のときに，選択できます。	・禁止 ・許可 (デフォルト: 禁止)
初期表示画面*2*3	ユーザがログオン後，初めて表示される画面を設定します。 画面表示権限によって，設定範囲が異なります。	・システムWebページ ・ユーザWebページ (デフォルト: システムWebページ)
[登録]ボタン	新しいユーザを登録できます。	—
[パスワード変更]ボタン	パスワードを変更できます。	—
[削除]ボタン	選択中のユーザを削除できます。	—

*1 MELESEC iQ-RのCPUユニットで設定できる項目です。
*2 MELSEC iQ-FのCPUユニットでは，FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットで設定できる項目です。
*3 FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでは，エンジニアリングツールのバージョンが"1.047Z"以降で設定できます。

■新しいユーザの追加

”Webサーバアカウント設定”の[登録]ボタンをクリックして，”新しいユーザの追加”を表示します。



項目	内容	設定範囲
ユーザ名	Webサーバアクセス時のユーザ認証で使用するユーザ名を入力します。大文字/小文字は区別されます。ユーザ名の使用可能文字は，下記を参照してください。	半角1~20文字(英数記号)
パスワード	Webサーバアクセス時のユーザ認証で使用するパスワードを入力します。大文字/小文字は区別されます。パスワードの使用可能文字は，下記を参照してください。	半角6~32文字(英数記号)
確認用パスワード	入力確認用のパスワードを入力します。新しいパスワードと同じパスワードを入力してください。 使用可能文字はパスワードと同様です。	半角6~32文字(英数記号)

ユーザ名およびパスワードに使用できる文字は，下記のとおりです。

文字	詳細
半角英数字(大文字/小文字)	0~9，A~Z，a~z
記号	半角スペース，!，”，#，$，%，&，’，(，)，*，+，,，-，.，/，:，;，<，=，>，?，@，[，¥，]，^，_，`，{，|，}，~

パラメータの反映

IPアドレス設定，Webサーバ設定，およびアカウント設定の完了後，エンジニアリングツールでCPUユニットにパラメータを書き込んでください。変更後のパラメータは，下記のタイミングで反映されます。

- 電源OFF→ON時
- リセット時

2.2 Webサーバへのアクセス方法

Webブラウザから，Webサーバへアクセスする方法を示します。

制約事項

Webサーバ機能の通信は，暗号化通信(SSL通信)に対応していないため，インターネット経由でアクセスしないでください。Webサーバにアクセスするときは，LAN内からアクセスしてください。インターネット経由でアクセスすると，通信内容を傍受される可能性があります。

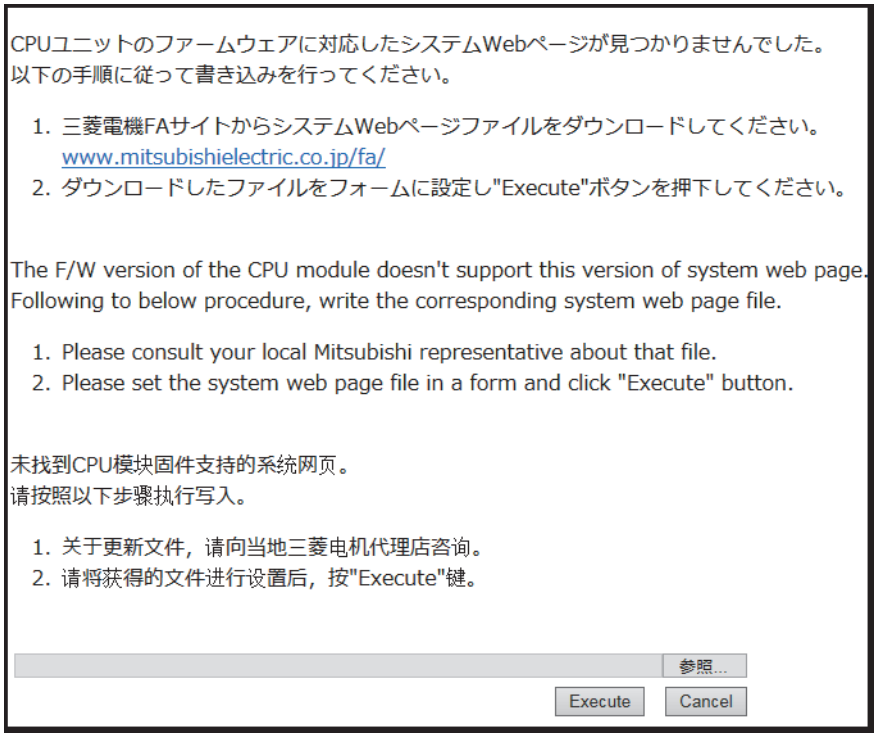
Webサーバへのアクセス方法

Webブラウザのアドレスバーに，下記を入力してアクセスします。
http://[Webサーバ(CPUユニット)のIPアドレス]/

自局ポート番号をデフォルト(80)から変更している場合は，下記を入力してください。
http://[Webサーバ(CPUユニット)のIPアドレス]:[自局ポート番号]/

Point

- ドメイン名を指定してWebサーバ(CPUユニット)にアクセスする場合は，事前にクライアント側で名前解決をしてからアクセスしてください。
- ログオン後の各ページのURLを直接指定してアクセスしないでください。直接指定をすると，画面が正しく表示されず，Webサーバからの情報が収集されません。
- アクセス後，下記画面が表示される場合は画面に表示されるメッセージに従って，システムWebページファイルをCPUユニットに書き込んでください。(☞ 19ページ システムWebページの書込み手順)



システムWebページの書込み手順

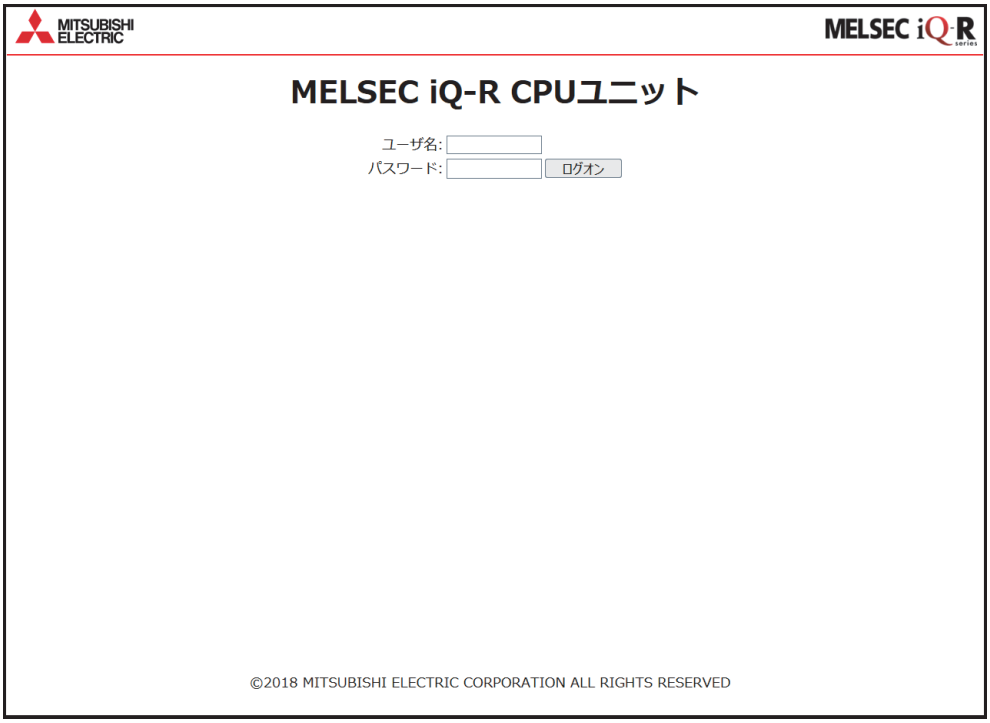
MELSEC iQ-RのCPUユニットで，Webサーバ機能を初めて使用するときは，CPUユニットにシステムWebページを書き込む必要があります。
システムWebページの書込み手順は，下記のとおりです。

1. システムWebページ更新画面のメッセージに従って，三菱電機FAサイトにアクセスします。
2. 三菱電機FAサイトからシステムWebページファイル(ZIPファイル)をダウンロードします。
3. システムWebページファイル(ZIPファイル)を解凍します。
4. システムWebページの入力フォームに，解凍したシステムWebページファイルを設定します。
5. [Execute]ボタンを押します。

2.3 ログオン/ログオフ

Webサーバへのログオン

Webサーバへアクセスするとログオン(ユーザ認証)画面が表示されます。
ログオン画面に，エンジニアリングツールで設定したユーザ名とパスワードを入力し，[ログオン]ボタンまたは[ログイン]ボタンをクリックするとログオンできます。
ユーザ名とパスワードの設定は，下記を参照してください。
☞ 16ページ Webサーバアカウント設定



Point

- 10回連続でログオンに失敗すると，一定時間ログオン不可の状態になります。
- ログオン後5分間通信がない場合，自動的にログオフします。
- 同一端末であっても，ブラウザが異なる場合は，ログオン/ログオフは別端末として認識されます。また，同一ブラウザであっても，シークレットウィンドウやプライベートウィンドウを使用する場合は，別端末として認識されます。

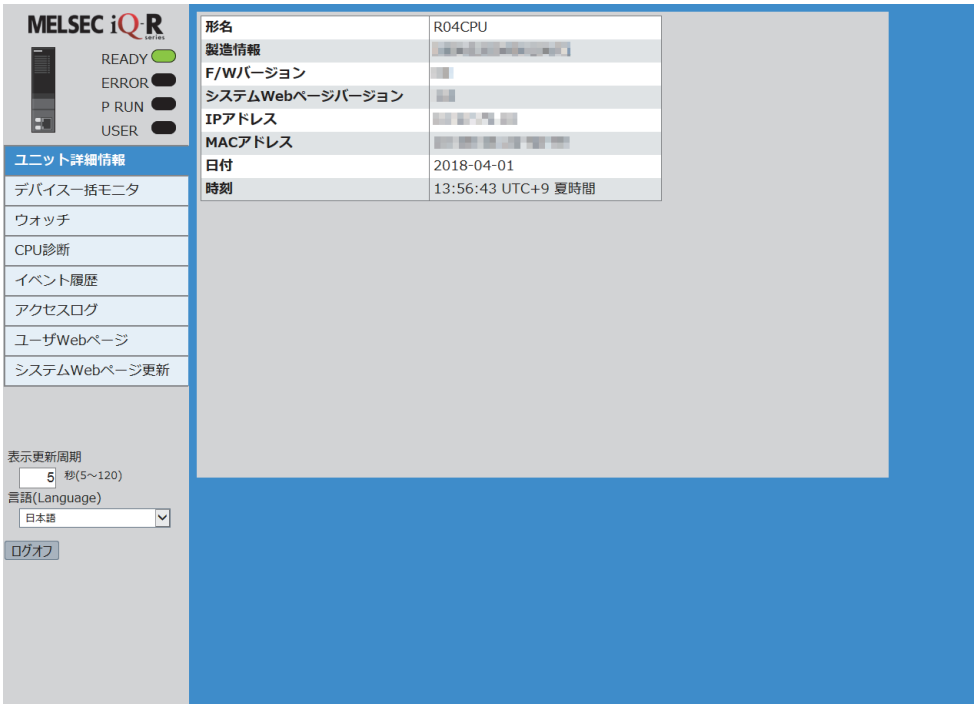
Webサーバからのログオフ

ログオフするときは，Webブラウザの[×]ボタンなどは使わず，[ログオフ]ボタンまたは[ログアウト]ボタンで行ってください。
[ログオフ]ボタンまたは[ログアウト]ボタンでログオフを行わないと，一定時間ログオン情報が残り，他のユーザがログオンできない場合があります。(☞ 51ページ トラブルシューティング)

3 Webサーバ機能を使ってみよう

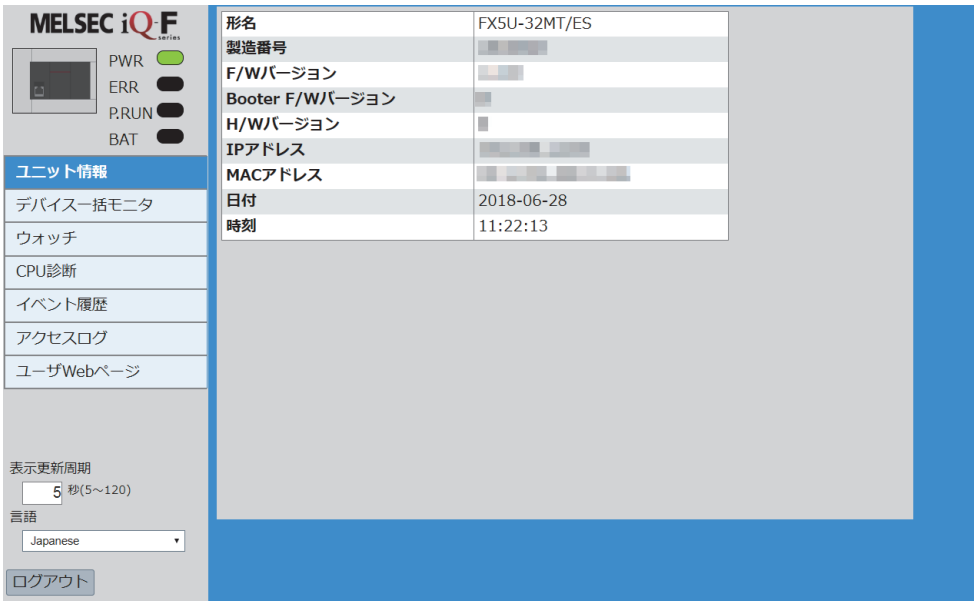
メニューから各画面に切り替えることで，CPUユニットのモニタや診断などができます。使用するCPUユニットのシリーズによって，使用できる機能や表示が異なります。(☞ 10ページ Webサーバ機能一覧)

MELSEC iQ-Rの初期表示画面



項目	内容
ユニット詳細情報	CPUユニットの形名，製造情報，F/Wバージョン，システムWebページバージョン，IPアドレス，MACアドレスなどのCPUユニットに関する情報が表示されます。ログオン後の初期表示画面としても表示されます。(☞ 23ページ ユニット詳細情報(ユニット情報))
デバイス一括モニタ	デバイスおよびバッファメモリを一括でモニタできます。(☞ 24ページ デバイス一括モニタ)
ウォッチ	デバイスおよびバッファメモリを1点単位で個別にモニタできます。(☞ 28ページ ウォッチ)
CPU診断	現在発生しているエラーを確認できます。(☞ 30ページ CPU診断)
イベント履歴	CPUユニットから取得したイベント履歴(発生日時，イベントコード，詳細情報など)が表示されます。(☞ 32ページ イベント履歴)
アクセスログ	Webサーバへのアクセス履歴や操作内容，アクセス元IPアドレスが表示され，Webサーバに対するアクセスの頻度，内容，不正アクセスの有無を確認することができます。(☞ 34ページ アクセスログ)
ユーザWebページ	HTMLやJavaScript，および画像ファイルを使用して，お客様独自のWebページをWebブラウザに表示できます。(☞ 41ページ ユーザWebページを使ってみよう) エンジニアリングツールの設定で，"画面表示権限"を"システムWebページのみ"にしていると表示されません。
システムWebページ更新	三菱電機FAサイトからダウンロードしたシステムWebページファイルを，CPUユニットに書き込むことで，システムWebページの更新ができます。(☞ 37ページ システムWebページ更新) エンジニアリングツールの設定で，"システムWebページ更新"を"禁止"にしていると表示されません。
表示更新周期	システムWebページの各機能のモニタ項目を最新状態に更新する周期を設定します。5~120秒を1秒単位で設定できます。(デフォルト: 5秒)(☞ 38ページ 表示更新周期)
言語(Language)	システムWebページの表示言語を，各言語に切り替えられます。(☞ 39ページ 言語切替え)
[ログオフ]ボタン	システムWebページからログオフします。

MELSEC iQ-Fの初期表示画面



項目	内容
ユニット情報	CPUユニットの形名，製造番号(製造情報)，F/Wバージョン，Booterバージョン，H/Wバージョン，IPアドレス，MACアドレスなどのCPUユニットに関する情報が表示されます。ログアウト後の初期表示画面としても表示されます。(☞ 23ページ ユニット詳細情報(ユニット情報))
デバイス一括モニタ	デバイスおよびバッファメモリを一括でモニタできます。(☞ 24ページ デバイス一括モニタ)
ウォッチ	デバイスおよびバッファメモリを1点単位で個別にモニタできます。(☞ 28ページ ウォッチ)
CPU診断	現在発生しているエラーを確認できます。(☞ 30ページ CPU診断)
イベント履歴	CPUユニットから取得したイベント履歴(発生日時，イベントコード，詳細情報など)が表示されます。(☞ 32ページ イベント履歴)
アクセスログ	Webサーバへのアクセス履歴や操作内容，アクセス元IPアドレスが表示され，Webサーバに対するアクセスの頻度，内容，不正アクセスの有無を確認することができます。(☞ 34ページ アクセスログ)
ユーザWebページ*1	HTMLやJavaScript，および画像ファイルを使用して，お客様独自のWebページをWebブラウザに表示できます。(☞ 41ページ ユーザWebページを使ってみよう) エンジニアリングツールの設定で，"画面表示権限"を"システムWebページのみ"にしていると表示されません。
表示更新周期	システムWebページの各機能のモニタ項目を最新状態に更新する周期を設定します。5~120秒を1秒単位で設定できます。(デフォルト: 5秒)(☞ 38ページ 表示更新周期)
言語	システムWebページの表示を選択した言語に切り替えます。(☞ 39ページ 言語切替え)
[ログアウト]ボタン	システムWebページからログアウトします。

*1　FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットで使用できます。

3.1 ユニット詳細情報(ユニット情報)

iQ-R iQ-F

CPUユニットの形名，製造情報，F/Wバージョン，システムWebページバージョン，IPアドレス，MACアドレスなどのCPUユニットに関する情報が表示されます。ログオン後の初期表示画面としても表示されます。

MELSEC iQ-Rの場合

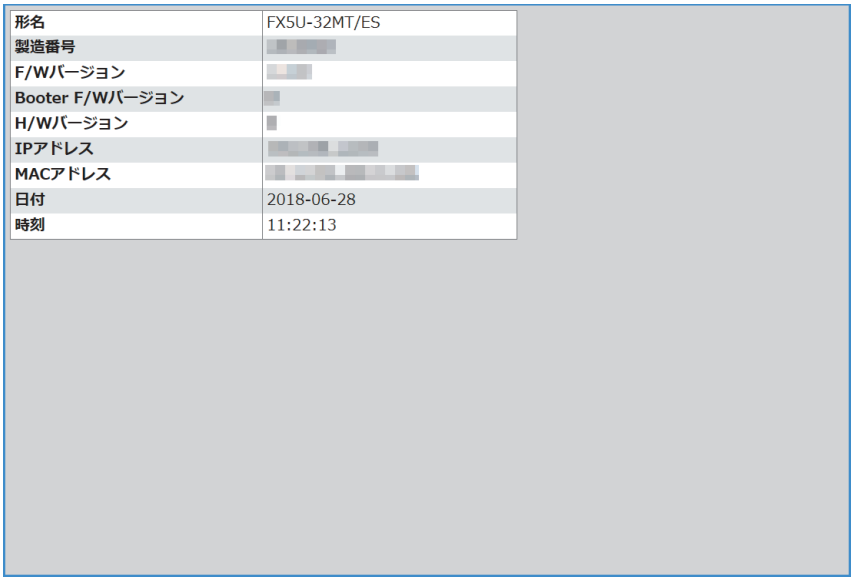
項目	内容
システムWebページバージョン	システムWebページのバージョンです。 前半の数字がメジャーバージョン，後半の数字がマイナーバージョンを示します。

Point

- RnENCPU使用時のIPアドレスには，CPU部のIPアドレスが表示されます。
- 時刻には，時刻，タイムゾーン，夏時間適用中かどうかが表示されます。"夏時間"は夏時間適用中のみ表示されます。タイムゾーンの設定は，下記を参照してください。

MELSEC iQ-R CPUユニットユーザーズマニュアル(応用編)

MELSEC iQ-Fの場合



3.2 デバイスモニタ

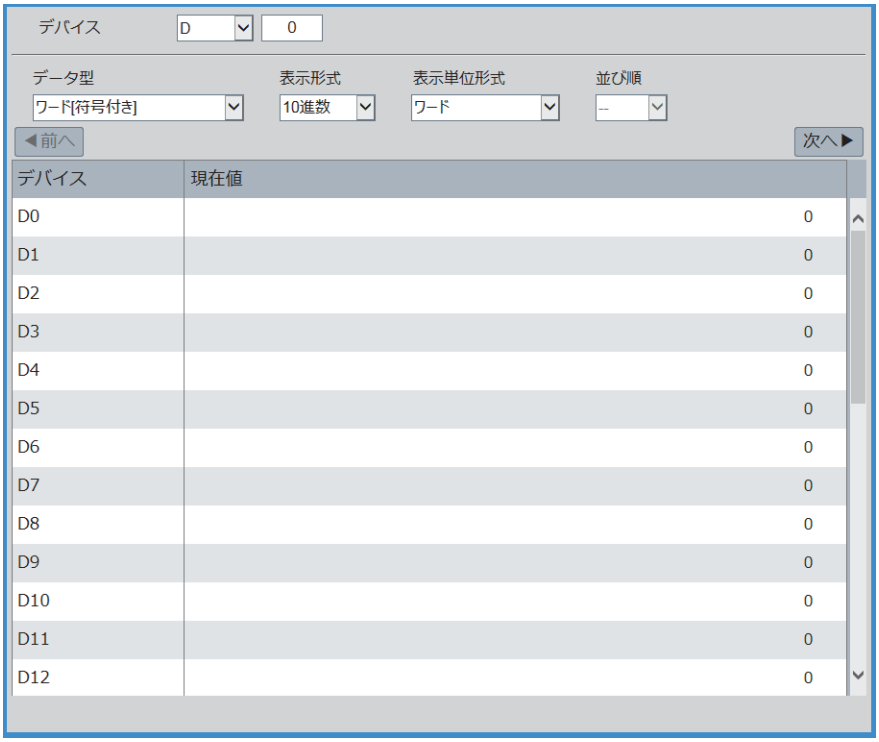
デバイスのモニタや値の変更ができます。

デバイス一括モニタ

iQ-R iQ-F

MELSEC iQ-Rの場合

デバイスおよびバッファメモリを一括でモニタできます。指定するデバイスによって，表示形式が異なります。



■モニタ操作例

1. 画面上部の"デバイス"からモニタするデバイスを選択します。
2. 先頭デバイス番号を入力します。
3. "データ型"，"表示形式"，"表示単位形式"，"並び順"を選択します。"データ型"，"表示形式"，"表示単位形式"，"並び順"の選択肢はデバイスによって変わります。
4. 選択後，Enterを押します。

Point

モニタするデバイスの現在値は，メニューの"表示更新周期"で設定した周期で自動更新されます。

■対応デバイス

デバイス
X，Y，M，L，B，F，SB，V，T，ST，LT，LST，C，LC，D，W，SW，DX，DY，SM，SD，Jn￥X[*1]，Jn￥Y[*1]，Jn￥B[*1]，Jn￥SB[*1]，Jn￥W[*1]，Jn￥SW[*1]，Un￥G，U3En￥G，U3En￥HG，Z，LZ，R，ZR，RD，BL，BLn￥S

*1　システムWebページのバージョン1.02以降ではリンクダイレクトデバイスの最大点数が異なります。
- Jn￥X/Jn￥Y: 160K点
- Jn￥B: 640K点
- Jn￥W: 2560K点
- Jn￥SB/Jn￥SW: 5120点

■現在値の変更

☞ 27ページ デバイステスト

MELSEC iQ-Fの場合

デバイスおよびバッファメモリを一括でモニタできます。指定するデバイスによって，表示形式が異なります。

■モニタ操作例(デバイスをモニタする場合)

1. 画面上部の"デバイス"からモニタするデバイスを選択します。
2. 先頭デバイス番号を入力します。
3. "データ型"，"表示形式"，"表示単位形式"，"並び順"を選択します。"データ型"，"表示形式"，"表示単位形式"，"並び順"の選択肢はデバイスによって変わります。
4. 選択後，Enterを押します。

■モニタ操作例(バッファメモリをモニタする場合)

1. 画面上部の"バッファメモリ"からモニタするインテリユニットNo.を選択します。
2. 先頭バッファメモリアドレスを入力します。
3. "データ型"，"表示形式"を選択します。"データ型"，"表示形式"の選択肢はバッファメモリによって変わります。
4. 選択後，Enterを押します。

Point

モニタするデバイスの現在値は，メニューの"表示更新周期"で設定した周期で自動更新されます。

■対応デバイス

すべてのデバイスをモニタできます。ただし，インデックス修飾，ワードデバイスのビット指定およびビットデバイスの桁指定をしたデバイスのモニタはできません。

📖MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編)

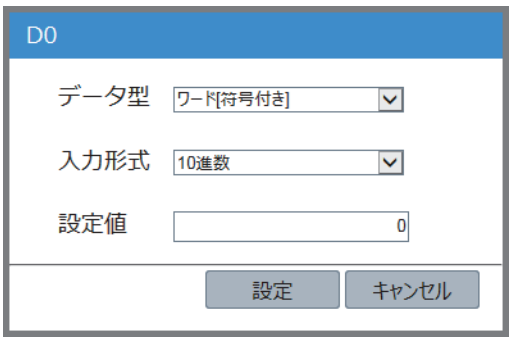
■現在値の変更

☞ 27ページ デバイステスト

デバイステスト

iQ-R iQ-F

デバイスの現在値をクリックすると，デバイステストが表示されます。デバイステストでは，現在値を変更できます。



1. 変更したいデバイスの現在値をクリックして，デバイステストを表示します。
2. ”データ型”，”入力形式”を指定し，”設定値”に変更したい値を入力します。
3. [設定]ボタンをクリックして，設定値の書込み実行の確認画面を表示します。
4. 設定値の書込み実行の確認画面で，[はい]ボタンをクリックして，設定値を書き込みます。

Point

デバイステストを表示するには，ログオンしているアカウントの”デバイス書込み”を”許可”にしておく必要があります。(☞ 16ページ アカウント設定)

ウォッチ

iQ-R iQ-F

デバイスおよびバッファメモリを1点単位で個別にモニタできます。使用するCPUユニットのシリーズによって，表示や対応デバイスが異なります。

項目	内容
[ウォッチ]ボタン	モニタするデバイスを，"ウォッチ1"~"ウォッチ4"*1に登録できます。"ウォッチ1"~"ウォッチ4"*1を使い分けることで，用途別にモニタできます。
[登録したデバイスの削除]ボタン	"ウォッチ1"~"ウォッチ4"*1に登録したデバイスを一括削除できます。

*1 MELSEC iQ-FのCPUユニットでは，"ウォッチ1"，"ウォッチ2"のみ使用できます。

モニタ操作例

1. モニタするデバイスを入力し，Enterを押します。Enterを押すと，"表示形式"，"データ型"，"現在値"が自動で入力されます。
2. "表示形式"，"データ型"を選択し，Enterを押します。"表示形式"，"データ型"の選択肢はデバイスによって変わります。

Point

- 1ページあたり32行まで表示できます。
- モニタするデバイスの現在値は，メニューの"表示更新周期"で設定した周期で自動更新されます。

対応デバイス

■MELSEC iQ-Rの場合

デバイス
X，Y，M，L，B，F，SB，V，T，ST，LT，LST，C，LC，D，W，SW，DX，DY，SM，SD，Jn￥X*1，Jn￥Y*1，Jn￥B*1，Jn￥SB*1，Jn￥W*1，Jn￥SW*1，Un￥G，U3En￥G*2，U3En￥HG*2，Z，LZ，R，ZR，RD，BL，BLn￥S

*1 システムWebページのバージョン1.02以降ではリンクダイレクトデバイスの最大点数が異なります。
- Jn￥X/Jn￥Y: 160K点
- Jn￥B: 640K点
- Jn￥W: 2560K点
- Jn￥SB/Jn￥SW: 5120点

*2 他号機CPUユニットのU3En￥G，U3En￥HGへの値の書込みは，Webサーバ機能にて指定可能ですが，CPUユニットでは設定値は反映されず，エラーになります。

■MELSEC iQ-Fの場合

すべてのデバイスをモニタできます。ただし，インデックス修飾，ワードデバイスのビット指定およびビットデバイスの桁指定をしたデバイスのモニタはできません。

MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編)

現在値の変更

デバイスの現在値をクリックすると，デバイステストが表示され，値を変更できます。(☞ 27ページ デバイステスト)
”ウォッチ”からデバイステストを表示するときは，デバイステストを表示したタイミングの現在値が表示されます。

3.3 CPU診断

iQ-R iQ-F

現在発生しているエラーを確認できます。

MELSEC iQ-Rの場合

MELSEC iQ-RのCPUユニットでは，最大16件まで表示されます。

[詳細]ボタンをクリックすると，エラーの詳細情報を確認できます。
各エラーの詳細情報画面の概要は，下記のとおりです。

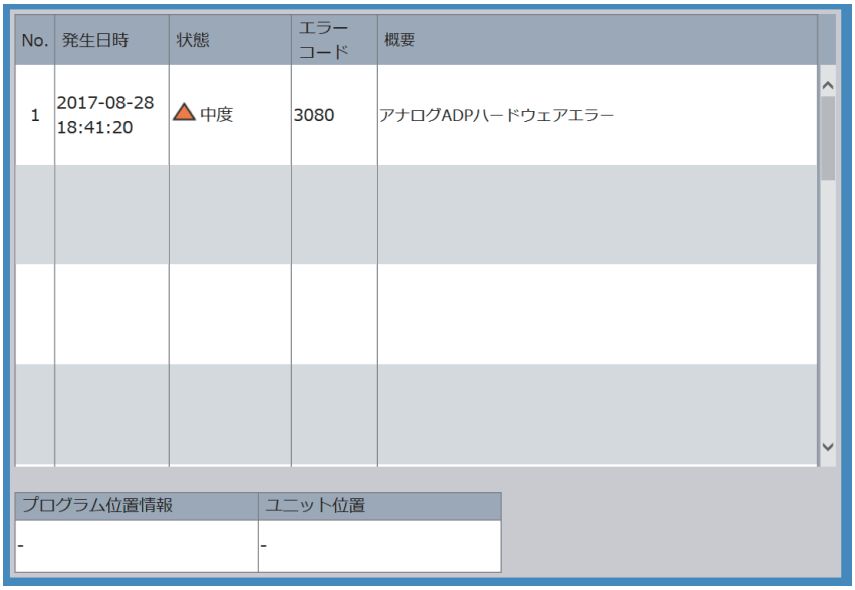
項目	内容
概要	エラーの概要(エラー名称)が表示されます。
詳細情報	各エラーコードに対応する詳細情報が最大3件まで表示されます。 表示する情報が存在しないときは"—"が表示されます。
原因	エラーの異常内容と原因が表示されます。

Point

- CPU診断の内容は，メニューの"表示更新周期"で設定した周期で自動更新されます。
- エラーの発生日時は，CPUユニットの設定時間に依存するため，ご使用中のパソコンの時間とは異なる場合があります。

MELSEC iQ-Fの場合

MELSEC iQ-FのCPUユニットでは，最大16件まで表示されます。
”プログラム位置情報”および”ユニット位置”で，エラーの詳細情報を確認できます。エラーコードの詳細は，下記を参照してください。
📖MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編)



項目	内容
プログラム位置情報*1	エラー発生シーケンスステップNo.(10進数)およびエラー発生ファイル名が表示されます。
ユニット位置*1	エラー発生したユニット位置の情報が表示されます。

*1 シーケンスステップNo.，ファイル名，ユニット位置を詳細情報として持たないエラーは”—”が表示されます。エラーがない場合は，空欄となります。

Point

CPU診断の内容は，メニューの”表示更新周期”で設定した周期で自動更新されます。

3.4 イベント履歴

iQ-R iQ-F

・FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでは，ファームウェアバージョンが"1.100"以降で使用できます。

CPUユニットから取得したイベント履歴(発生日時，イベントコード，詳細情報など)が表示されます。1画面に最大32件まで表示されます。

MELSEC iQ-Rの場合

Webサーバ機能では，イベント履歴のクリアはできません。エンジニアリングツールでクリアしてください。

GX Works3 オペレーティングマニュアル

項目	内容
[前へ]ボタン，[次へ]ボタン	表示中の画面のイベント履歴より，32件前/32件後のイベント履歴が表示されます。
[最新の情報に更新]ボタン	CPUユニットからイベント履歴が取得され，画面が更新されます。更新時には，最近登録されたイベント32件が1ページ目に表示されます。 イベント履歴は，エンジニアリングツールの"イベント履歴設定"で選択した，イベント履歴保存先から取得されます。
最終更新日時	他の画面から"イベント履歴"に遷移したとき，もしくは最後に[最新の情報に更新]ボタンをクリックしたときに，CPUユニットから取得した日時が表示されます。更新されていない場合は，空欄になります。 表示フォーマットは，下記のとおりです。 YYYY-MM-DD hh: mm: ss(YYYY: 年，MM: 月，DD: 日，hh: 時，mm: 分，ss: 秒)

[詳細]ボタンをクリックすると，各イベントの詳細情報が表示されます。詳細情報画面の概要は，下記のとおりです。

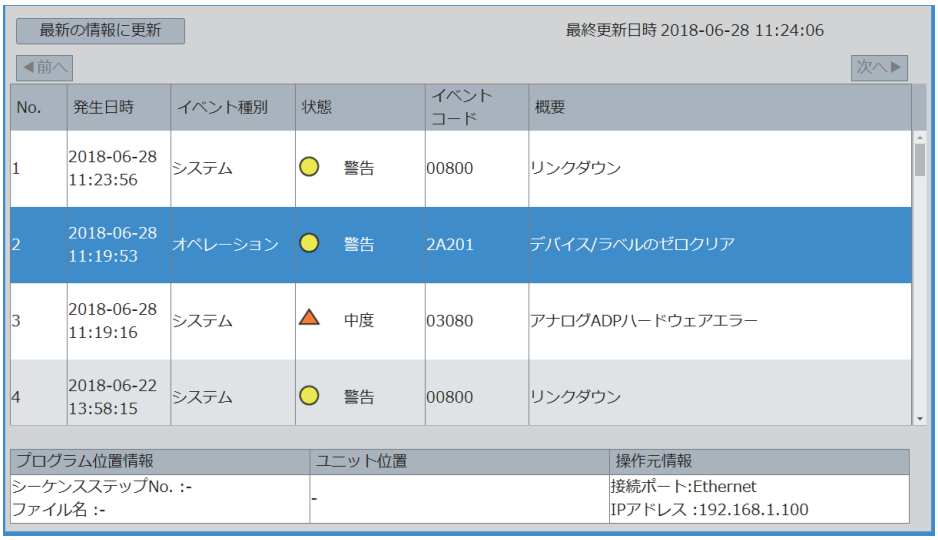
項目	内容
詳細情報	各イベントコードに対応する詳細情報が最大3件まで表示されます。 表示する情報が存在しないときは"—"が表示されます。
原因	イベントの内容が表示されます。

Point

・イベントの取りこぼしが発生していた場合は，"*HST LOSS*"が表示されます。

・Webサーバ機能では，CPUユニット以外のユニットのイベント履歴は表示されません。CPUユニット以外のユニットのイベント履歴を確認したいときは，エンジニアリングツールで確認してください。

MELSEC iQ-Fの場合



項目	内容
[前へ]ボタン，[次へ]ボタン	表示中の画面のイベント履歴より，32件前/32件後のイベント履歴が表示されます。
[最新の情報に更新]ボタン	CPUユニットからイベント履歴が取得され，画面が更新されます。更新時には，最近登録されたイベント32件が1ページ目に表示されます。 イベント履歴は，エンジニアリングツールの"イベント履歴設定"で選択した，イベント履歴保存先から取得されます。
最終更新日時	他の画面から"イベント履歴"に遷移したとき，もしくは最後に[最新の情報に更新]ボタンをクリックしたときに，CPUユニットから取得した日時が表示されます。更新されていない場合は，空欄になります。 表示フォーマットは，下記のとおりです。 YYYY-MM-DD hh: mm: ss(YYYY: 年，MM: 月，DD: 日，hh: 時，mm: 分，ss: 秒)

詳細情報は下記のとおりです。

項目	内容
プログラム位置情報	エラー発生シーケンスステップNo.(10進数)およびエラー発生ファイル名が表示されます。
ユニット位置*1	エラー発生したユニット位置の情報が表示されます。
操作元情報	CPUユニットの接続ポートおよびIPアドレスが表示されます。

*1 シーケンスステップNo.，ファイル名，ユニット位置を詳細情報として持たないエラーは"—"が表示されます。エラーがない場合は，空欄となります。

Point

- イベントの取りこぼしが発生していた場合は，"*HST LOSS*"が表示されます。
- Webサーバ機能では，CPUユニット以外のユニットのイベント履歴は表示されません。CPUユニット以外のユニットのイベント履歴を確認したいときは，エンジニアリングツールで確認してください。

イベント履歴の更新タイミング

"イベント履歴"は，メニューで設定した"表示更新周期"で更新されません。

更新タイミングは，下記のとおりです。

- メニューの"イベント履歴"を選択時
- [最新の状態に更新]ボタンをクリック時

3.5 アクセスログ

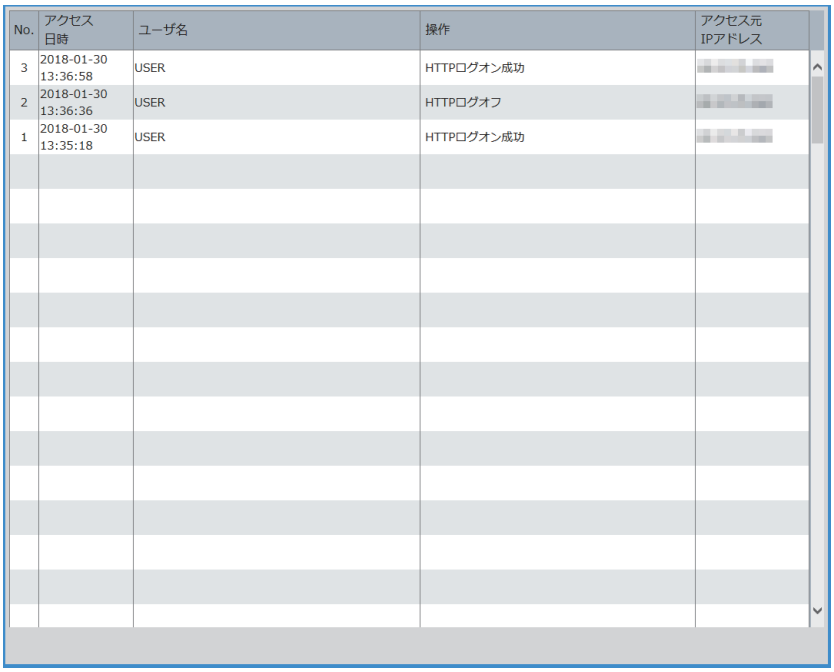
iQ-R iQ-F

Webサーバへのアクセス履歴や操作内容，アクセス元IPアドレスが表示され，Webサーバに対するアクセスの頻度，内容，不正アクセスの有無を確認することができます。使用するCPUユニットのシリーズによって，表示およびアクセスログに表示される操作が異なります。

MELSEC iQ-Rの場合

制約事項

システムWebページのメジャーバージョンを更新すると，アクセスログがクリアされます。(☞ 37ページ システムWebページ更新)



項目	内容
No.	アクセス日時の新しい順で表示されます。最大128件まで表示されます。
ユーザ名	操作を行った"ユーザ名"が表示されます。(☞ 35ページ アクセスログに表示される操作) ログオン失敗時は，ログオン操作で入力された"ユーザ名"が表示されます。
操作	ユーザが行った操作内容が表示されます。(☞ 35ページ アクセスログに表示される操作)
アクセス元IPアドレス	ユーザのIPアドレス(10進数)が表示されます。

■アクセスログに表示される操作

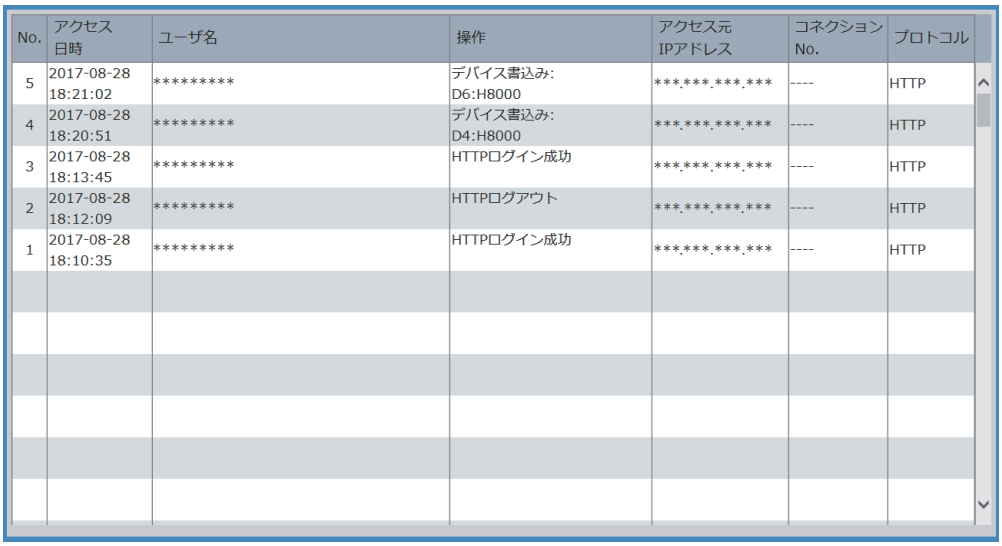
MELSEC iQ-RのCPUユニットで，アクセスログに表示される操作は下記のとおりです。

操作	登録タイミング	付加する情報
HTTPログオン成功	ログオン実行時	—
HTTPログオン失敗	ログオン実行時	—
HTTPログオフ	ログオフ実行時	—
デバイス書込み	デバイス書込み実行時	書き込んだデバイス: 設定値
システムWebページ書き込み成功	システムWebページ(マイナーバージョン)書込み成功時	書込み前後のシステムWebページのバージョン情報
システムWebページ書き込み失敗	システムWebページ(マイナーバージョン)書込み失敗時	—

Point

- アクセスログは128件まで蓄積できます。128件以降は古いアクセスログから順にクリアされます。
- MELSEC iQ-RのCPUユニットのアクセスログは，電源OFF中もバッテリで保持されます。バッテリを使用しない場合は，バッテリレスオプションカセットを使用すると保持できます。R00CPU，R01CPU，R02CPUのCPUユニットは，バッテリおよびバッテリレスオプションカセットを使用しなくても，保持されます。
- CPUユニットの電源OFFやブラウザ終了など，[ログオフ]ボタン以外でのログオフはアクセスログに蓄積されません。

MELSEC iQ-Fの場合



No.	アクセス日時	ユーザ名	操作	アクセス元IPアドレス	コネクションNo.	プロトコル
5	2017-08-28 18:21:02	*********	デバイス書込み: D6:H8000	***.***.***.***	----	HTTP
4	2017-08-28 18:20:51	*********	デバイス書込み: D4:H8000	***.***.***.***	----	HTTP
3	2017-08-28 18:13:45	*********	HTTPログイン成功	***.***.***.***	----	HTTP
2	2017-08-28 18:12:09	*********	HTTPログアウト	***.***.***.***	----	HTTP
1	2017-08-28 18:10:35	*********	HTTPログイン成功	***.***.***.***	----	HTTP

項目	内容
No.	アクセス日時の新しい順で表示されます。最大128件まで表示されます。
ユーザ名	操作を行った"ユーザ名"が表示されます。(☞ 36ページ アクセスログに表示される操作) ログイン失敗時は，ログイン操作で入力された"ユーザ名"が表示されます。
操作	ユーザが行った操作内容が表示されます。(☞ 36ページ アクセスログに表示される操作)
アクセス元IPアドレス	ユーザのIPアドレス(10進数)が表示されます。
コネクションNo.	コネクションNo.が表示されます。
プロトコル	プロトコルが表示されます。

■アクセスログに表示される操作

MELSEC iQ-FのCPUユニットで，アクセスログに表示される操作は下記のとおりです。

操作	登録タイミング	付加する情報
HTTPログイン成功	ログイン実行時	—
HTTPログイン失敗	ログイン実行時	—
HTTPログアウト	ログアウト実行時	—
デバイス書込み	デバイス書込み実行時	書き込んだデバイス: 設定値

Point

- アクセスログは128件まで蓄積できます。128件以降は古いアクセスログから順にクリアされます。
- MELSEC iQ-FのCPUユニットのアクセスログは，電源OFF中に保持されません。FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでは，オプションバッテリFX3U-32BLを使用すると保持できます。
- CPUユニットの電源OFFやブラウザ終了など，[ログアウト]ボタン以外でのログアウトはアクセスログに蓄積されません。

3.6 ユーザWebページ

iQ-R iQ-F

・FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでは，ファームウェアバージョンが"1.100"以降で使用できます。

お客様独自のWebページを作成できます。

ユーザWebページを使用するには，作成したWebページをSDメモリカードに書き込む必要があります。(☞ 41ページ ユーザWebページを使ってみよう)

制約事項

MELSEC iQ-Rシリーズの場合

・ユーザWebページを表示するには，SDメモリカードが必要です。そのため，R00CPUでは使用できません。

MELSEC iQ-Fシリーズの場合

・MELSEC iQ-FのCPUユニットでは，FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでユーザWebページを使用できます。

3.7 システムWebページ更新

iQ-R ~~iQ-F~~

MELSEC iQ-RのCPUユニットで使用可能な機能です。

システムWebページファイル(RWebFile_XX_YY.HVF)は，三菱電機FAサイトからダウンロードします。

三菱電機FAサイトからダウンロードしたシステムWebページファイルを，CPUユニットに書き込むことで，システムWebページの更新ができます。

システムWebページのメジャーバージョンによっては，CPUユニットのファームウェアバージョンを更新する必要があります。(☞ 55ページ システムWebページバージョン)

システムWebページファイル名	文字列	内容
RWebFile_XX_YY.HVF	RWebFile	機種名
	XX	メジャーバージョン
	YY	マイナーバージョン
	HVF(Httpserver Versionup File)	拡張子

システムWebページバージョンおよびCPUユニットのファームウェアバージョンは"ユニット詳細情報"で確認できます。(☞ 23ページ ユニット詳細情報(ユニット情報))

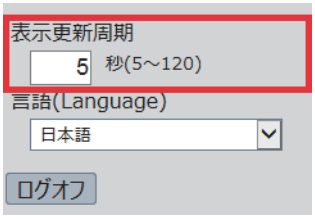
Point

マイナーバージョンを更新するときは，エンジニアリングツールのアカウント設定で"システムWebページ更新"を"許可"にしておく必要があります。

3.8 表示更新周期

iQ-R iQ-F

システムWebページの各機能のモニタ項目を最新状態に更新する周期を設定します。



設定手順

設定手順は，下記のとおりです。

1. "表示更新周期"を入力します。
2. Enterを押します。Enterを押すと，画面が更新されて，入力した更新周期で更新が開始されます。
Enterを押さないと，設定が反映されず，変更前の周期で更新されます。

表示更新周期で更新される表示

"表示更新周期"で更新される表示は，下記のとおりです。

- LED表示
- デバイス一括モニタ
- ウォッチ
- CPU診断
- アクセスログ("HTTPログオン成功"を除く)

イベント履歴は，"表示更新周期"で設定した周期で更新されません。(☞ 33ページ イベント履歴の更新タイミング)

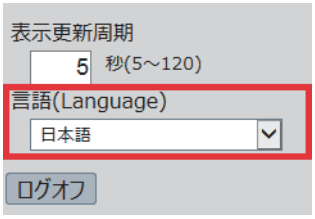
Point

- 他のEthernet通信など，負荷が高い処理を同時に行っていると，設定値よりも更新周期が遅くなることがあります。
- CPUユニットの通信処理負荷が高い場合や，通信経路上の問題で表示更新周期の設定周期内で応答が返らない場合は，設定した周期で表示は更新されません。(☞ 51ページ トラブルシューティング)

3.9 言語切替え

iQ-R iQ-F

システムWebページの表示言語を，各言語に切り替えられます。



シリーズ	言語
MELSEC iQ-R	• 日本語 • 英語 • 中国語(簡体字)
MELSEC iQ-F	• 日本語 • 英語 • 中国語(簡体字)*1

*1 CPUユニットのファームウェアバージョンに制約があります。(☞ 11ページ Webサーバ機能仕様)

MEMO

4 ユーザWebページを使ってみよう

iQ-R iQ-F

• FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでは，ファームウェアバージョンが"1.100"以降で使用できます。

HTMLやJavaScript，および画像ファイルを使用して，お客様独自のWebページをWebブラウザに表示できます。

制約事項

MELSEC iQ-Rシリーズの場合

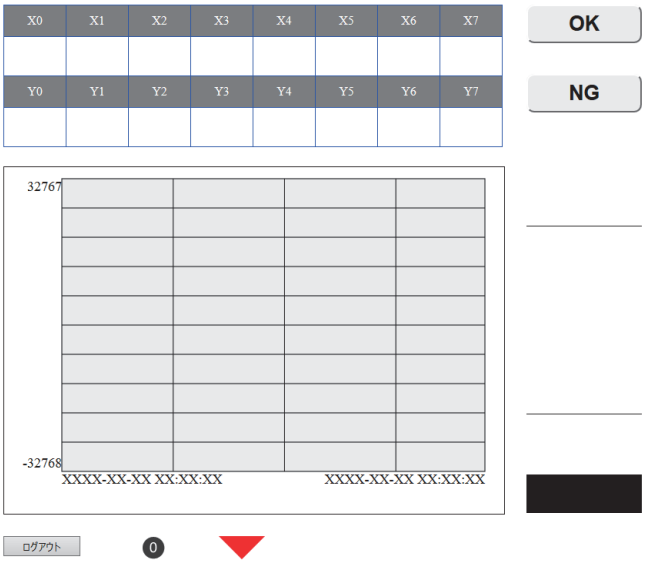
• ユーザWebページを表示するには，SDメモリカードが必要です。そのため，R00CPUでは使用できません。

MELSEC iQ-Fシリーズの場合

• MELSEC iQ-FのCPUユニットでは，FX5U CPUユニット，FX5UC CPUユニットでユーザWebページを使用できます。

ユーザWebページの表示例

ユーザWebページの表示例は，下記のとおりです。



手順

ユーザWebページの使用手順は，下記のとおりです。

1. ユーザWebページのライブラリ(ZIPファイル)を三菱電機FAサイトからダウンロードします。(☞ 43ページ ユーザWebページのライブラリをダウンロード)
2. エンジニアリングツールでCPUユニットのパラメータを設定します。(☞ 14ページ CPUユニットのパラメータ設定)
3. CPUユニットの電源OFF→ON，またはリセットでパラメータ設定を反映します。(☞ 17ページ パラメータの反映)
4. ユーザWebページのライブラリ(ZIPファイル)を解凍します。
5. ユーザWebページのライブラリのUSERフォルダに入っている，ユーザWebページのHTML(index.html)を編集します。(☞ 44ページ ユーザWebページの編集)
6. ユーザWebページをSDメモリカードに書き込みます。(☞ 47ページ SDメモリカードへの格納)
7. ユーザWebページへアクセスします。(☞ 49ページ ユーザWebページへのアクセス)
8. ユーザWebページからログオフします。

Point

Webサーバ機能を使用するときは，Webブラウザの設定でJavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

4.1 ユーザWebページのライブラリをダウンロード

ユーザWebページのライブラリは，三菱電機FAサイトからダウンロードできます。
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa
三菱電機FAサイトにアクセスできない場合は，最寄りの当社の支社，代理店にご相談ください。

ユーザWebページのライブラリ

ダウンロードしたユーザWebページを編集すると，お客様独自のWebページを作成できます。

内容	圧縮ファイル名
MELSEC iQ-R Webサーバ機能向けユーザWebページ	cpu-user_web_r_vXXX.zip (vXXX: バージョン)
MELSEC iQ-F Webサーバ機能向けユーザWebページ	cpu-user_web_f_vXXXX.zip (vXXXX: バージョン)

制約事項

ユーザWebページバージョンとCPUユニットのファームウェアバージョンの組み合わせに制限があります。
(☞ 56ページ ユーザWebページバージョン)

4.2 CPUユニットのパラメータ設定

CPUユニットのパラメータ設定は，下記を参照してください。
☞ 14ページ CPUユニットのパラメータ設定

Point

ユーザWebページを使用するときは，エンジニアリングツールのアカウント設定で"画面表示権限"を"すべて許可"または"ユーザWebページのみ"に設定します。

4.3 ユーザWebページの編集

ユーザWebページを編集します。ユーザWebページのライブラリ内にある，ユーザWebページのHTML(index.html)を編集して，レイアウトの変更や部品の追加/削除をしてください。

対応デバイス

制約事項

1ページのユーザWebページに指定するデバイスは，デバイス種別に関係なく32点までにしてください。32点を超えると異常が発生する場合があります。

■MELSEC iQ-Rの場合

デバイス
X，Y，M，L，B，F，SB，V，T，ST，LT，LST，C，LC，D，W，SW，DX，DY，SM，SD，Jn￥X[*1]，Jn￥Y[*1]，Jn￥B[*1]，Jn￥SB[*1]，Jn￥W[*1]，Jn￥SW[*1]，Un￥G，U3En￥G[*2]，U3En￥HG[*2]，Z，LZ，R，ZR，RD，BL，BLn￥S

*1 ユーザWebページのバージョン1.01以降ではリンクダイレクトデバイスの最大点数が異なります。
- Jn￥X/Jn￥Y: 160K点
- Jn￥B: 640K点
- Jn￥W: 2560K点
- Jn￥SB/Jn￥SW: 5120点

*2 他号機CPUユニットのU3En￥G，U3En￥HGへの値の書込みは，Webサーバ機能にて指定可能ですが，CPUユニットでは設定値は反映されず，エラーになります。

■MELSEC iQ-Fの場合

インデックス修飾，ワードデバイスのビット指定およびビットデバイスの桁指定をしたデバイスを除く，すべてのデバイスに対応しています。

MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編)

JavaScript部品

JavaScript部品を使うと，ユーザWebページからデバイスの読出し/書込みが簡単にできます。

JavaScript部品を使用するには，JavaScript部品のライブラリ(RUserWebLib.js/FUserWebLib.js)が必要です。JavaScript部品のライブラリは，ユーザWebページのライブラリに含まれています。(☞ 43ページ ユーザWebページのライブラリをダウンロード)

ユーザWebページで使用できるJavaScript部品は，下記のとおりです。

部品名(関数名)	機能概要
データブロック部品 (WSDatblk)	指定したデバイスデータを表形式で表示します。
レベル表示部品 (WSLevel)	デバイス値の全体(上限値と下限値の範囲)に対する割合を表示します。
図形表示部品 (WSFigure)	デバイス値が設定した値になると，指定した図形を表示します。
画像表示部品 (WSPicture)	デバイス値が設定した値になると，指定した画像ファイルを表示します。
ヒストリカルグラフ部品 (WSHstgrp)	デバイスデータを，時系列の折れ線グラフで表示します。
書込みボタン部品 (WSWrtBtn)	指定したデバイスに，指定した値を書き込みます。
ログオフボタン部品/ログアウトボタン部品 (WSLogoutBtn)	ログオフ操作をします。

JavaScript部品の詳細は，下記を参照してください。

MELSEC iQ-R Ethernetユーザーズマニュアル(応用編)
MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編)

■JavaScript部品の使用例(index.html)

ユーザWebページのデフォルトページ(index.html)のサンプルです。下記のサンプルでは，データブロック部品(WSDatblk)とログオフボタン部品(WSLogoutBtn)を使用しています。

```
<!DOCTYPE html>
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">
	<head>
		<meta charset="UTF-8">
		<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge"/>
		<title>Sample</title>
		<link href="./css/UserWebStyle.css" rel="stylesheet" media="all" />
		<script src="./RUserWebLib.js"></script>
		<script>
			var updateInterval = 5;
			var dspLanguage = 'ja-JP';

			temp = [];
			for(var i = 0; i < 8; i++){
				temp.push({
					dsp:	'X' + i,
					name:	'X' + i,
					base:	'B',
					format: 6
				});
			}
			for(var i = 0; i < 8; i++){
				temp.push({
					dsp:	'Y' + i,
					name:	'Y' + i,
					base:	'B',
					format: 6
				});
			}
			dataBlockParam = {
				dev:			temp,
				direction:		1,
				blkSize:		8,
				devNamDisp:		1,
				devNamCol:		'white',
				devNamBkCol:	'#808080',
				devNamWidth:	100,
				devNamHeight:	40,
				devValCol:		'blue',
				devValBkCol:	'white',
				devValWidth:	80,
				devValHeight:	50,
				lnCol:			'blue',
				xPos:			20,
				yPos:			40
			}
			WSDatblk(dataBlockParam);
//-------------------------------------------------------------------------------
			logoutBtnParam = {
				xPos:		20,
				yPos:		730,
				btnHeight:	26,
				btnWidth:	100,
				btnTxt:		'Log out'
			}
			WSLogoutBtn(logoutBtnParam);
//-------------------------------------------------------------------------------
		</script>
	</head>
	<body>
	</body>
</html>
```

Point

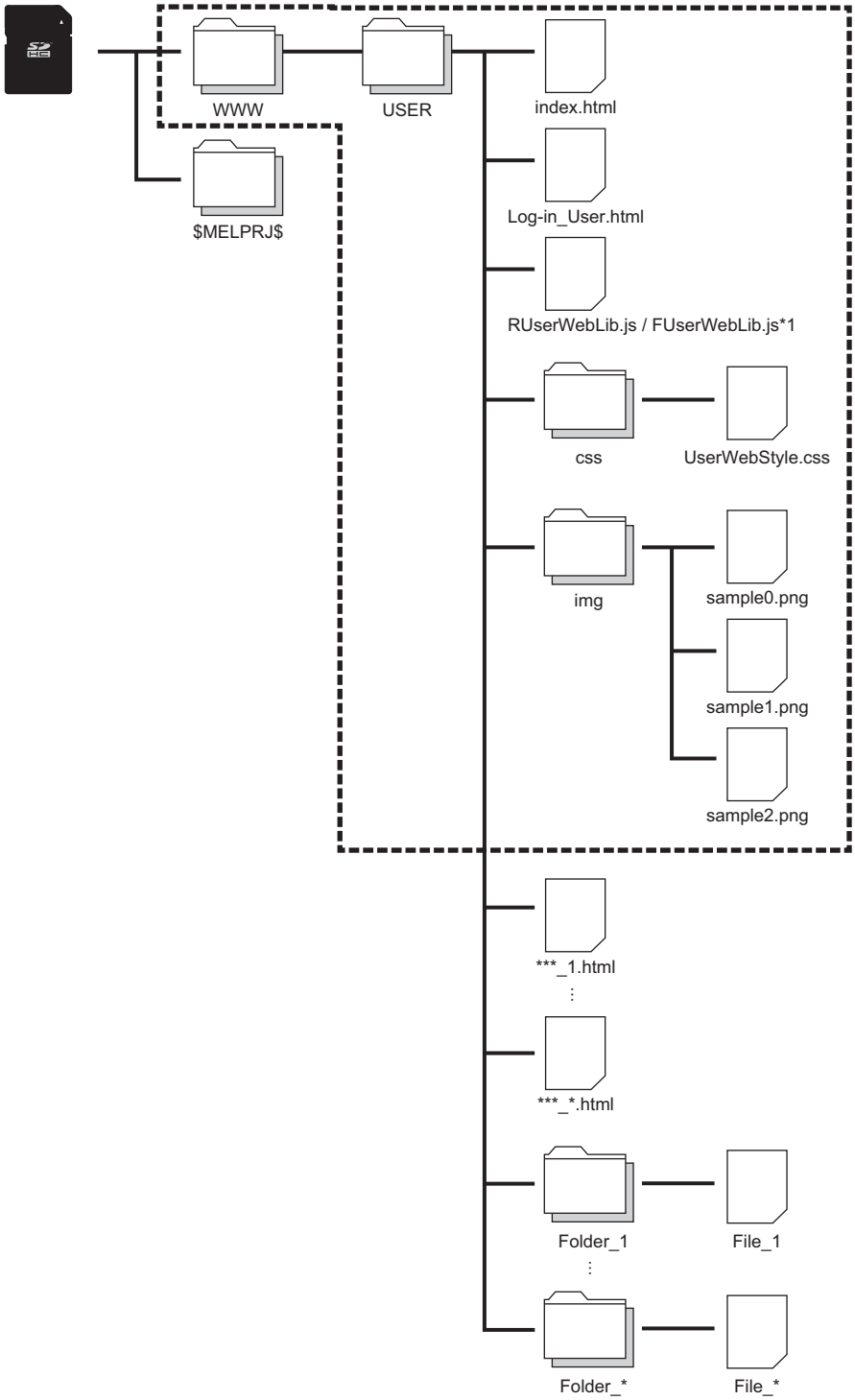
- ユーザWebページの自動更新周期(updateInterval)は，5秒以上に設定してください。5秒未満に設定すると，更新周期がずれる場合や，現在値が正しく取得できない場合があります。
- ユーザWebページのHTMLを編集するときは，ログオフボタン部品(WSLogoutBtn)を削除しないでください。
- ユーザWebページからログオフするときは，Webブラウザの[×]ボタンなどは使わず，[ログオフ]ボタンまたは[ログアウト]ボタンで行ってください。[ログオフ]ボタンまたは[ログアウト]ボタンでログオフを行わないと，一定時間ログオン情報が残り，他のユーザがログオンできない場合があります。(☞ 51ページ トラブルシューティング)

4.4 SDメモリカードへの格納

ユーザWebページのライブラリの中にある，WWWフォルダをSDメモリカードの直下に格納します。

SDメモリカードのフォルダ構成

下記フォルダ構成の点線で囲まれた部分は，ユーザWebページのライブラリで提供しているフォルダおよびファイルです。点線内のフォルダおよびファイルの構成は，変更しないでください。ファイルの名称やフォルダ構成が異なると，アクセス時にエラーになります。



*1 ダウンロードしたユーザWebページのライブラリによって格納されているフォルダ名が異なります。
·cpu-user_web_r_vXXX.zip: RUserWebLib.js
·cpu-user_web_f_vXXXX.zip: FUserWebLib.js

SDメモリカードに格納するファイルのファイル名は，ASCIIコードで拡張子を含めて32文字以内で設定してください。たとえば，Menu_ja-JP.htmlの場合は15文字です。(☞ 51ページ トラブルシューティング)

フォルダ/ファイル名	内容	格納要否	
		MELSEC iQ-R	MELSEC iQ-F
WWW	USERフォルダが格納されているフォルダ	必須	必須
USER	ユーザWebページ用フォルダ	必須	必須
index.html	ユーザWebページのデフォルトページ	必須	必須
Log-in_User.html	ユーザ用ログオンページのサンプル	必須	必須
RUserWebLib.js	ユーザWebページ用JavaScript部品ライブラリ	必須	—
FUserWebLib.js		—	必須
css	スタイルシート用フォルダ	任意	任意
UserWebStyle.css	ユーザWebページ用デフォルトスタイルシート	任意	任意
img	ユーザWebページ用画像フォルダ	任意	任意
sample0.png	ユーザWebページ用サンプル画像ファイル	任意	任意
sample1.png	ユーザWebページ用サンプル画像ファイル	任意	任意
sample2.png	ユーザWebページ用サンプル画像ファイル	任意	任意
***_1.html	任意のページ*2*3	任意	任意
Folder_1	任意の画像用フォルダ*3	任意	任意
File_1	任意の画像ファイル*3	任意	任意

*2　ユーザWebページのトップ画面の拡張子は.html固定です。
*3　作成したファイルまたはフォルダは，USERフォルダ内に格納してください。

使用可能ファイル

ユーザWebページ部品で使用可能なファイルは，下記のとおりです。

ファイル	拡張子
HTML	.html
	.htm
JavaScript	.js
CSS	.css
GIF画像	.gif
PNG画像	.png
JPG/JPEG画像	.jpg(.jpeg)

4.5 ユーザWebページへのアクセス

Webブラウザから，ユーザWebページへアクセスします。

制約事項

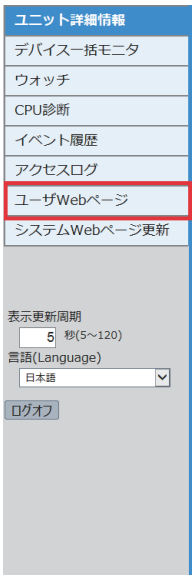
Webサーバ機能の通信は，暗号化通信(SSL通信)に対応していないため，インターネット経由でアクセスしないでください。Webサーバにアクセスするときは，LAN内からアクセスしてください。インターネット経由でアクセスすると，通信内容を傍受される可能性があります。

ユーザWebページへのアクセス方法

ユーザWebページへは，下記のいずれかの方法でアクセスします。
MELSEC iQ-RのCPUユニットでは，ユーザWebページのみを使用する場合でも，システムWebページの書込みが必要です。
(☞ 19ページ システムWebページの書込み手順)

■システムWebページからのアクセス

システムWebページの"ユーザWebページ"をクリックするとアクセスできます。



■アドレスバーに直接URLを入力してアクセス

Webブラウザのアドレスバーに，下記を入力してアクセスします。
http://[Webサーバ(CPUユニット)のIPアドレス]/USER/[デフォルトページ名]

自局ポート番号をデフォルト(80)から変更している場合は，下記を入力してください。
http://[Webサーバ(CPUユニット)のIPアドレス]:[自局ポート番号]/USER/[デフォルトページ名]

Point

ログオン後の各ページへのURLを直接指定してアクセスしないでください。直接指定をすると，画面が正しく表示されず，Webサーバからの情報が収集されません。

■ログオン後，直接ユーザWebページにアクセス

アカウント設定で"初期表示画面"を"ユーザWebページ"に設定すると，Webサーバへログオン後，ユーザWebページが表示されます。

ユーザWebページからのログオフ

ユーザWebページからログオフすると，ユーザ用のログオン画面が表示されます。ユーザ用のログオン画面がない場合は，エラーが表示されます。ログオフするときは，Webブラウザの[×]ボタンなどは使わず，ユーザWebページの[ログオフ]ボタンまたは[ログアウト]ボタンで行ってください。[ログオフ]ボタンまたは[ログアウト]ボタンでログオフを行わないと，一定時間ログオン情報が残り，他のユーザがログオンできない場合があります。(☞ 51ページ トラブルシューティング)

5 トラブルシューティング

Webサーバ機能使用時に異常動作が発生した場合，下記を参照し対処してください。

内容	原因	処置
Webページが表示されない。	Webサーバ機能非対応のファームウェアバージョンである。	Webサーバ機能に対応しているファームウェアバージョンにアップデートしてください。
	Webサーバ機能が無効である。	エンジニアリングツールのパラメータ設定でWebサーバ機能を有効にしてパラメータを書き込んでください。または，エンジニアリングツールをWebサーバ機能に対応しているソフトウェアバージョンにアップデートしてから，Webサーバ機能を有効にし，パラメータを書き込んでください。
	URL(IPアドレス)が間違っている。	URL上のIPアドレスとCPUユニットのIPアドレスが一致することを確認してください。
	URLで指定するポート番号が間違っている。	URL上のポート番号とCPUユニットの自局ポート番号が一致することを確認してください。
	URLを「https://~」で指定している。	URLを「http://~」で指定してください。
	Ethernetケーブルが抜けている。	Ethernetケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	CPUユニットのサブネットマスクが間違っている。	CPUユニットのサブネットマスクが正しく設定されていることを確認してください。
	CPUユニットのデフォルトゲートウェイが間違っている。	CPUユニット側のルータを確認し，CPUユニットのデフォルトゲートウェイが，設定されていることを確認してください。
	LANの設定で，プロキシサーバを使用する設定になっている。	LANの設定を確認し，プロキシサーバを使用しない設定にしてください。
下記が表示される。 400 Bad Request	要求パス長(http://(IPアドレス)/より後の部分のパス長)が256文字を超えている。	要求パス長を確認してください。
下記が表示される。 403 Forbidden	URLおよびユーザWebページのHTMLからのリソース参照でフォルダを指定している。	URLおよびユーザWebページのHTMLからのリソース参照先を確認してください。
	ログオンしているアカウントが表示権限を持たないページを表示しようとした。	アカウントの表示権限(ユニットパラメータの設定)を確認し，表示したいページの表示権限のあるアカウントでログオンし直してください。
下記が表示される。 404 Not Found	URL(フォルダパス)が間違っている。	URL(フォルダパス)が正しいことを確認してください。 ユーザWebページにアクセスしようとしている場合は，index.htmlおよびLog-in_User.htmlを格納したSDメモリカードがCPUユニットに装着されているか確認してください。 リストア実行中は，リストア処理が終了してから画面を操作してください。
下記が表示される。 405 Method Not Allowed	ユーザWebページで，CGIがPOST以外で要求されている。	CGIがPOST以外で要求されていないか確認してください。
下記が表示される。 501 Not Implemented	HTTPの要求にContentTypeが付与されていない。	推奨ブラウザを使用しているか確認してください。
下記が表示される。 505 HTTP Version not supported	ブラウザがサポートしているHTTPバージョンが1.0より古い。	
JavaScriptが無効であることを示すメッセージが表示される。	JavaScriptが無効になっている。	ブラウザのJavaScriptを有効にしてください。
Cookieが無効であることを示すメッセージが表示される。	Cookieが無効になっている。	ブラウザのCookieを有効にしてください。
ページが正しく表示されない，ページレイアウトが崩れている。	Webブラウザが，Webサーバ機能で実装されるHTML，CSSに対応していない。	対応Webブラウザを使用してください。
文字化けが生じる。	Webブラウザの文字エンコーディングの設定が間違っている。	Webブラウザの文字エンコーディングの設定を確認してください。
デバイス名が間違っていることを示すメッセージが表示される。	デバイス名が間違っている。	デバイス名が正しいことを確認してください。
デバイス番号が範囲外であることを示すメッセージが表示される。	デバイス番号が範囲外である。	デバイス番号が範囲内であることを確認してください。
デバイスへの設定値が範囲外であることを示すメッセージが表示される。	デバイスへの設定値が範囲外である。	デバイス設定値が範囲内であることを確認してください。

内容	原因	処置
ログオンができず，下記が表示される。 ユーザ名またはパスワードが一致しません	ユーザ名またはパスワードが間違っている。	ユーザ名またはパスワードを確認してください。
下記が表示される。 Webサイト側でページを表示できません HTTP 500 内部サーバエラー	WebサーバのシステムWebページファイルが壊れている。または，存在しない。	システムWebページをアップロードし直してください。それでも表示されない場合は，最寄りの三菱電機システムサービス株式会社または当社の支社，代理店にご相談ください。
リクエストの要求元が正しくないことを示すメッセージが表示される。	WebサーバがHTTPリクエストのrefererヘッダフィールドが送信されていない，または不正である。	ブラウザやファイアウォールの設定でrefererが送信されているか，確認してください。
ユーザWebページで，画像や図形表示部品が表示されない。	ユーザWebページのHTMLに記述したファイル名が間違っている。 非対応のファイル形式を使用している。 ファイルサイズが大きすぎる。 ユーザWebページのHTMLやJavaScriptの記述が間違っている。 ユーザWebページ部品のパラメータ設定が間違っている。	ユーザWebページのHTMLに記述したファイル名と，SDメモリカードに格納したファイル名が一致することを確認してください。 画像ファイルが記載のファイル形式であることを確認してください。(☞ 48ページ 使用可能ファイル) ファイルサイズを確認してください。 ユーザWebページのHTMLやJavaScriptの記述を確認してください。 ユーザWebページ部品のパラメータ設定を確認してください。
表示更新周期で更新されない。	CPUユニットの通信負荷が高い。	CPUユニットの通信負荷を下げる。
	回線状態が不安定である。	回線状態を確認する(PINGなど)。 エンジニアリングツールからPINGテストを行う場合は，下記を参照してください。 📖MELSEC iQ-R Ethernetユーザーズマニュアル(応用編) 📖MELSEC iQ-F FX5ユーザーズマニュアル(Ethernet通信編) PINGテストは，Microsoft®Windows®のコマンドプロンプトからも行えます。
	CPUユニットの電源がOFFにされた。	CPUユニットの電源をONにする。

6 注意事項

注意事項は，下記のとおりです。

Webページの応答性能について

Webページの応答性能は，下記の要因により変動します。

- Ethernet回線の負荷率(回線の混み具合)
- 同時に使用するコネクション数(他のコネクションの更新処理)

CPUユニットの応答性能について

CPUユニットに同時にログオンできるユーザ数のHTTPクライアントが接続された状態で，新たなHTTPクライアントが接続しようとすると，応答性能が低下することがあります。

Webサーバへのアクセスについて

Webサーバ機能使用中に，ファイル読込みが正常に完了しなかった場合や，ページのリロードを要求する旨のメッセージが表示される場合は，再読込みしてください。

通信タイムアウト時間について

通信タイムアウト時間はブラウザの仕様に依存するため，必ずしもWebサーバのタイムアウト時間(5分)と同じではありません。また，エラー画面もブラウザによってデザインが異なります。

MEMO

付録

付1　システムWebページバージョン

MELSEC iQ-RのCPUユニットでは，システムWebページバージョンとCPUユニットのファームウェアバージョンの組み合わせに制限があります。

R00CPU，R01CPU，R02CPU

システムWebページバージョン	CPUユニットのファームウェアバージョン
1.00	"05"以降
1.01	"08"以降
1.02	"11"以降
1.03	"14"以降
1.07	"24"以降

上記以外のMELSEC iQ-RのCPUユニット

システムWebページバージョン	CPUユニットのファームウェアバージョン
1.00	"35"以降
1.01	"40"以降
1.02	"43"以降
1.03	"46"以降
1.07	"57"以降

付2　ユーザWebページバージョン

MELSEC iQ-RのCPUユニットでは，ユーザWebページバージョンとCPUユニットのファームウェアバージョンの組み合わせに制限があります。

R00CPU

ユーザWebページは使用できません。

R01CPU，R02CPU

ユーザWebページバージョン	CPUユニットのファームウェアバージョン
1.00	"05"以降
1.01	"11"以降

上記以外のMELSEC iQ-RのCPUユニット

ユーザWebページバージョン	CPUユニットのファームウェアバージョン
1.00	"35"以降
1.01	"43"以降

索引

A

Android 11

C

CPUユニット.....12
CSS3.....11

F

FUserWebLib.js.....44,48

G

Google Chrome 11
GX Works3.....12

H

HTML5 11

I

index.html.....48
Internet Explorer 11
iOS 11

J

JavaScript部品 44

L

Log-in_User.html.....48

M

Mobile Google Chrome.....11
Mobile Safari.....11

R

RUserWebLib.js.....44,48

U

UserWebStyle.css.....48

え

エンジニアリングツール 8
エンジニアリングツールバージョン 12

か

画面表示権限 16

し

システムWebページ 11
システムWebページ更新 16
システムWebページバージョン 23,55
初期表示画面 16

た

対応言語 11
対応デバイス 25,26,28,44
対応文字コード 11

て

デバイス 8
デバイス書込み 16
デバイステスト 27

は

バッファメモリ 8

ふ

ファームウェアバージョン 12

ま

マイナーバージョン 23

め

メジャーバージョン 23

ゆ

ユーザWebページ 11

索

改訂履歴

*取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	*取扱説明書番号	改訂内容
2018年4月	SH(名)-081981-A	初版
2018年8月	SH(名)-081981-B	**■追加機能** イベント履歴(MELSEC iQ-F)，ユーザWebページ(MELSEC iQ-F) **■追加・修正箇所** 安全上のご注意，関連マニュアル，1章，1.1節，2.1節，3章，3.1節，3.4節，3.6節，3.9節，4章，4.1節，4.4節，4.5節
2018年10月	SH(名)-081981-C	**■追加・修正箇所** 付1
2019年3月	SH(名)-081981-D	**■追加・修正箇所** 1.1節，4章，4.1節，4.3節，4.4節，4.5節
2019年4月	SH(名)-081981-E	**■追加・修正箇所** 3.2節，4.3節，付1，付2
2019年10月	SH(名)-081981-F	**■追加・修正箇所** 1章，1.3節，2.1節，3.5節，4章，付1
2021年4月	SH(名)-081981-G	**■追加・修正箇所** 付1

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

©2018 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

保証について

ご使用に際しましては，以下の製品保証内容をご確認いただきますよう，よろしくお願いいたします。

1. 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に，製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合，当社はお買い上げいただきました販売店または当社サービス会社を通じて，無償で製品を修理させていただきます。
ただし，国内および海外における出張修理が必要な場合は，技術者派遣に要する実費を申し受けます。
また，故障ユニットの取替えに伴う現地再調整・試運転は当社責務外とさせていただきます。

【無償保証期間】

製品の無償保証期間は，お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後 36 ヵ月とさせていただきます。
ただし，当社製品出荷後の流通期間を最長 6 ヵ月として，製造から 42 ヵ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。
また，修理品の無償保証期間は，修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

【無償保証範囲】

(1) 一次故障診断は，原則として貴社にて実施をお願い致します。
ただし，貴社要請により当社，または当社サービス網がこの業務を有償にて代行することができます。この場合，故障原因が当社側にある場合は無償と致します。

(2) 使用状態・使用方法，および使用環境などが，取扱説明書，ユーザーズマニュアル，製品本体注意ラベルなどに記載された条件・注意事項などに従った正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

(3) 無償保証期間内であっても，以下の場合には有償修理とさせていただきます。
① お客様における不適切な保管や取扱い，不注意，過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
② お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
③ 当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合，お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
④ 取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
⑤ 消耗部品（バッテリ，リレー，ヒューズなど）の交換。
⑥ 火災，異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震，雷，風水害などの天変地異による故障。
⑦ 当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
⑧ その他，当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

2. 生産中止後の有償修理期間

(1) 当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は，その製品の生産中止後 7 年間です。
生産中止に関しましては，当社テクニカルニュースなどにて報じさせていただきます。

(2) 生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

3. 海外でのサービス

海外においては，当社の各地域 FA センターで修理受付をさせていただきます。ただし，各 FA センターでの修理条件などが異なる場合がありますのでご了承ください。

4. 機会損失，二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず，以下については当社責務外とさせていただきます。

(1) 当社の責に帰すことができない事由から生じた障害。

(2) 当社製品の故障に起因するお客様での機会損失，逸失利益。

(3) 当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害，二次損害，事故補償，当社製品以外への損傷。

(4) お客様による交換作業，現地機械設備の再調整，立上げ試運転その他の業務に対する補償。

5. 製品仕様の変更

カタログ，マニュアルもしくは技術資料などに記載の仕様は，お断りなしに変更させていただく場合がありますので，あらかじめご承知おきください。

以　上

購入に関するお問い合わせ

製品の購入のご検討やご相談はこちらからお問い合わせください。

三菱電機株式会社

本社機器営業部	〒110-0016	東京都台東区台東1-30-7 (秋葉原アイマークビル)	(03) 5812-1450
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関越支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通1-4-1 (マルタケビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

サービスのお問い合わせ

修理・サービスに関するお問い合わせはこちらにお問い合わせください。

三菱電機システムサービス株式会社

北日本支社	(022) 353-7814	北陸支店	(076) 252-9519
北海道支店	(011) 890-7515	関西支社	(06) 6458-9728
東京機電支社	(03) 3454-5521	京滋機器サービスステーション	(075) 611-6211
神奈川機器サービスステーション	(045) 938-5420	姫路機器サービスステーション	(079) 269-8845
関越機器サービスステーション	(048) 859-7521	中四国支社	(082) 285-2111
新潟機器サービスステーション	(025) 241-7261	岡山機器サービスステーション	(086) 242-1900
中部支社	(052) 722-7601	四国支店	(087) 831-3186
静岡機器サービスステーション	(054) 287-8866	九州支社	(092) 483-8208

商標

Microsoft，Windows，Microsoft Edge，およびInternet Explorerは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Android，およびGoogle Chromeは，Google Inc.の登録商標または商標です。
Safariは，米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
IOS(iOS)は，Cisco Systems, Inc.およびその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり，Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
SDロゴ，SDHCロゴは，SD-3C，LLCの商標です。
本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。
本文中で，商標記号(™，®)は明記していない場合があります。

SH(名)-081981-G

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。

●電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種			電話番号	自動窓口案内選択番号※7
自動窓口案内			052-712-2444	-
エッジコンピューティング製品		産業用PC MELIPC	052-712-2370※2	8
		Edgecross対応ソフトウェア (MTConnectデータコレクタを除く)		
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnSシーケンサ(CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)		052-711-5111	2→2
	MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般		052-725-2271※3	2→1
	ネットワークユニット(CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)		052-712-2578	2→3
	MELSOFTシーケンサエンジニアリングソフトウェア	MELSOFT GXシリーズ(MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)	052-711-0037	2→2
	MELSOFT統合エンジニアリング環境	MELSOFT Navigator	052-799-3591※2	2→6
	iQ Sensor Solution			
	MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370※2	2→4
	MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
	C言語コントローラ/C言語インテリジェント機能ユニット			
	MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット		052-799-3592※2	2→5
	システムレコーダ			
	MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	プロセスCPU/二重化機能 SIL2プロセスCPU (MELSEC iQ-Rシリーズ)	052-712-2830※2※3	2→7
		プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ)		
		MELSOFT PXシリーズ		
	MELSEC Safety	安全シーケンサ (MELSEC iQ-R/QSシリーズ)	052-712-3079※2※3	2→8
		安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)		
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	QEシリーズ/REシリーズ	052-719-4557※2※3	2→9
FAセンサ MELSENSOR		レーザ変位センサ	052-799-9495※2	6
		ビジョンセンサ		
		コードリーダ		
表示器 GOT		GOT2000/1000シリーズ	052-712-2417	4→1
		MELSOFT GTシリーズ		4→2
SCADA MC Works64			052-712-2962※2※6	-
サーボ/位置決めユニット/モーションユニット/シンプルモーションユニット/モーションコントローラ/センシングユニット/組込み型サーボシステムコントローラ		MELSERVOシリーズ	052-712-6607	1→2
		位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/AnSシリーズ)		1→2
		モーションユニット (MELSEC iQ-Rシリーズ)		1→1
		シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)		1→2
		モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/AnSシリーズ)		1→1
		センシングユニット (MR-MTシリーズ)		1→2
		シンプルモーションボード/ポジションボード		1→2
		MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ		1→2
センサレスサーボ		FR-E700EX/MM-GKR	052-722-2182	3
インバータ		FREQROLシリーズ	052-722-2182	
三相モータ		三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900※2※4	-
産業用ロボット		MELFAシリーズ	052-721-0100	5
電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ			052-712-5430※5	-
データ収集アナライザ		MELQIC IU1/IU2シリーズ	052-712-5440※5	-
低圧開閉器		MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170	7→2
		US-Nシリーズ		
低圧遮断器		ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559	7→1
電力管理用計器		電力量計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556	7→3
省エネ支援機器		EcoServer/E-Energy/検針システム/エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557※2※3	7→4
小容量UPS (5kVA以下)		FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※2※6	7→5

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。
※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：土曜・日曜・祝日を除く ※3：金曜は17:00まで ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) ※6：月曜～金曜の9:00～17:00
※7：選択番号の入力は、自動窓口案内冒頭のお客様相談内容に関する代理店、商社への提供可否確認の回答後にお願いいたします。

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QEシリーズ/REシリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※8
低圧開閉器	0574-61-1955※9
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
※8：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く) ※9：月曜～金曜の9:00～15:00 (祝日・当社休日を除く)

三菱電機 FA 検索
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

本マニュアルは，輸出する場合，経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

SH(名)-081981-G(2104)
形名： RAFCPU-GUIDE-WB-J

2021年4月作成

本マニュアルは，お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。